

統合報告書 2023

INTEGRATED REPORT 2023

福祉楽団
FUKUSHI GAKUDAN



2022年度 事業報告
2022.04.01-2023.03.31

2023年度 事業計画
2023.04.01-2024.03.31



ケアを考え "暮らし"を良くし 福祉を変える

ケアの真価は、「これが本当にその人の最善なのかどうか」を問い続け、考えることです。そうした思考をベースとしながら、ケアを実践し、昨日よりも今日の、今日よりも明日の"暮らし"を良くしていかなければなりません。目の前の人に向き合い、小さな実践でも、一層、一層、積み重ねていくことを大切にします。そして、実践から見てきたものを発信し、提言し、議論する姿勢をもち、つねに福祉のあり方を問いなおします。

当事者への思い

いつまでも自分らしく安心して生活したい。そんな思いに私たちは「ケア」を通して応えていきます。

- 当事者の最善の利益を追求します。
- 持てる力、健康な力を活用し高めるケアを実践します。
- 生活の視点で当事者を見つめ、社会でのつながりを大切にします。

社会への思い

私たちは、社会のなかで真価のある存在を目指します。そのため、地域と協働し、自然環境とともに歩む姿勢を忘れません。

- 社会福祉法人として公益的な事業をすすんで行います。
- 情報を公開し、透明性の高い経営を実践します。
- 嘘をつかず正義を希求し勇気をもって行動します。

職員への思い

よりよい福祉実践のためには、職員が安心して働ける環境と、成長できる機会が大切です。長期的な視点をもって人材育成に取り組めます。

- 広く社会で活躍できる人材を育成します。
- 職員の能力を活かし、「楽しい」ことを大切にします。
- 多様性を受け入れ、安心して働ける環境を整えます。



民主的な社会に暮らす方法を学びたいのならば、
オーケストラで演奏するのがよいだろう。
オーケストラで演奏すれば、
自分が先導するときと追従するときがわかるようになるからだ。
他の人たちのために場所を残しながら、
同時にまた自分自身の場所を主張することはいっしょにかまわない。

A.グゼリミアン編「パレンボイム／サイド 音楽と社会」(中野真紀子訳)から

社会福祉法人 福祉楽団 統合報告書2023

編集方針 本報告書は、コンヴィヴィアル (Convivial) な社会の実現を目指す福祉楽団が、当法人とかがかわる皆様とのコミュニケーションを深めることを目的に作成しています。「ケアを考え"暮らし"を良くし 福祉を変える」をミッションとして取り組む事業や活動について説明しています。本報告書の作成にあたり、グローバル・レポート・イニシアティブ (Global Reporting Initiative, GRI) によるガイドライン「GRIスタンダード」を参照しています。

発行日 2023年7月1日 発行人 理事長 飯田大輔

社会福祉法人 福祉楽団
〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1

TEL 043-307-2828 E-Mail info@gakudan.org
FAX 043-307-4848 HP https://gakudan.org/

この冊子は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) が認証する適切に管理された森林からの原料を含む FSC® 認証紙を使用しております。



CONTENTS

04 2022年度事業報告

- 04 トップメッセージ
- 05 役員体制
- 06 トピックス
- 08 コーポレート・ガバナンス
- 09 財務情報
- 15 基礎データ
- 19 そのほかの報告事項

22 2023年度事業計画

- 23 中期経営計画
- 24 事業方針
- 25 事業計画
- 29 資金収支計算書

30 福祉楽団について

- 30 施設概要
- 31 組織図
- 32 沿革
- 33 法人概要

34 ご寄附のお願い

REPORT

2022年度 事業報告

2022.04.01-2023.03.31



最前線で働く人を支え、 市民や企業のみなさまと新しい挑戦をすすめます

新型コロナウイルス感染症の対策はひとつの節目を迎えました。ご利用者やご家族のご協力に、あらためて感謝申し上げます。そして、介護職員の献身的な協力があって、これまでの対策がとられてきたことにも、あらためて最大限の感謝を表します。日々の感染対策ではたいへんなストレスがかかってきました。感染防護具を着ながらの介護は心身の消耗を極めます。この3年間は集合研修や他施設との交流もなくなり、教育研修も思うように進みませんでした。今後も必要な感染対策を続けてまいります。介護職員の負担軽減や人材育成については、コロナ禍前の水準よりも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

そして目下の物価高は経営に大きなインパクトをもたらしています。電気、ガスの高騰だけでなく、食材や介護資材も軒並み上昇を続けています。これらの社会情勢への変化に対応しながら、安定した経営を行っていき所存です。

千葉県習志野市ですすめている児童養護施設等の複合型福祉施設の計画については、2023年9月に着工する予定です。事業費の総額は22億円で、そのうち国庫補助金等は約3億円、あとは借入金による手当てです。こうしたことから、「OUR KIDS 基金」を創設し、市民や企業のみなさまに寄附を募集して子どものための福祉実践の財政基盤をつくりたいと考えています。

制度の“スキマ”で困っている人に向き合い、暮らしを良くする実践を重ねます。そして、最前線で働く人を全力で支え、きちんと報われる制度になるようにアクションを行ってまいります。

今後とも、変わらぬ応援をいただきたくお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 飯田 大輔

BOARD MEMBER

役員体制



いいた だいすけ
飯田 大輔 (45)

理事長

理事会出席回数：12/12
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2001年 当法人 入職
2003年 杜の家くりもと事業部 生活相談員
2008年 杜の家やしお事業部長
理事
2017年 理事長（現任）
兼職（社外）：(株)恋する豚研究所 代表取締役、
(株)香取農業耕社 代表取締役、(福)愛川舜寿会 理事、
(福)ゆうゆう 理事



いわた なおき
岩田 直樹 (40)

常務理事／財務担当 兼 コーポレート統括部長

理事会出席回数：12/12
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2014年 当法人 入職
総務部 職員
2016年 経理部長
2017年 理事
2022年 常務理事（現任）
コーポレート統括部長（現任）
兼職（社外）：ケアコラボ(株)取締役、(一社)福祉の現場 ICT活用協議会 監事



おおた まゆみ
大枝 真弓 (40)

常務理事／安全・CS担当（内部監査人）

理事会出席回数：12/12
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2003年 当法人 入職
杜の家くりもと事業部 介護職員
2011年 杜の家やしお事業部 施設福祉サービス部長
2014年 杜の家やしお事業部長
2017年 常務理事（現任）
兼職（社外）：無



あべ あきこ
安部 明子 (47)

理事／安全・CS担当 兼 杜の家なりた事業部長

理事会出席回数：12/12
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2008年 当法人 入職
杜の家やしお事業部 介護職員
2016年 杜の家やしお事業部長
2018年 理事（現任）
2020年 杜の家なりた事業部長（現任）
兼職（社外）：無



いしま たいろう
石間 太郎 (42)

理事／安全・CS担当 兼 杜の家やしお事業部長

理事会出席回数：12/12
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2009年 当法人 入職
杜の家やしお事業部 介護職員
2015年 地域ケアよしかわ事業部長
2017年 理事（現任）
2020年 杜の家やしお事業部長（現任）
兼職（社外）：無



ばば たくや
馬場 拓也 (47)

理事（社外）

理事会出席回数：11/12
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2001年 ジョルジオ・アルマーニジャパン(株)入社
2010年 (福)愛川舜寿会 入職
2016年 同法人 常務理事
2017年 当法人 理事（現任）
2023年 (福)愛川舜寿会 理事長（現任）
兼職（社外）：(一社)FUKUSHI FOR CONVIVIALITY
代表理事、(福)ゆうゆう 監事、ケアコラボ(株)取
締役、(一社)日本医療福祉建築協会 理事



おおはら ゆうすけ
大原 裕介 (43)

理事（社外）

理事会出席回数：11/12
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2011年 (NPO)ゆうゆう 理事長
2013年 (福)ゆうゆう 設立 理事長（現任）
2014年 (一社)FACE to FUKUSHI 共同代表（現任）
2017年 当法人 監事
2023年 当法人 理事（現任）
兼職（社外）：北海道医療大学 客員教授、(学)東日
本学園 理事、(福)愛川舜寿会 理事



ほしかわ のぶひこ
星川 望 (40)

監事（非常勤）

理事会出席回数：10/12
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2007年 税理士法人 HOP 入所（現任）
2009年 税理士登録
2010年 行政書士登録
2017年 当法人 監事（現任）
2022年 行政書士法人 HOP 設立 代表（現任）
兼職（社外）：(一社)成長企業研究会 理事、慶應義
塾大学 非常勤講師



くすだ たすく
櫛田 啓 (41)

監事（非常勤）

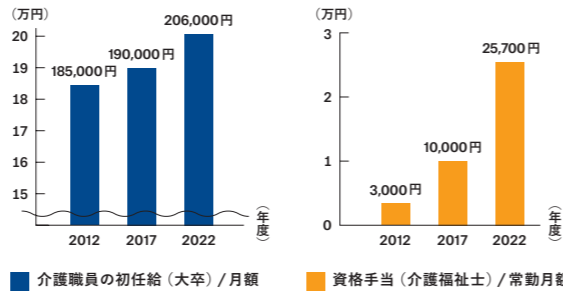
理事会出席回数：—/—
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2006年 (福)慈愛会 入職
児童養護施設 職員
2010年 (福)みねやま福祉会 入職
2015年 同法人 児童養護施設でらす峰夢 施設長（現任）
2019年 同法人 理事（現任）
2023年 当法人 監事（現任）
兼職（社外）：(NPO)スマホ里親ドットネット 理事長

01

介護職員の処遇改善をすすめています

2022年4月から10月までの「介護職員処遇改善支援補助金」、2022年10月からの介護報酬改定による「介護職員等ベースアップ等支援加算」を活用して、福祉楽団では、介護職員等に対して月額5,140円（常勤月額換算）のベースアップを行いました。また、12月25日付で「処遇改善一時金」として介護職員161人に対し、1人当たり25,000円を支給しています。また、新型コロナウイルス感染症の対応に当たった介護職員等238人に対し、1人当たり最大64,000円の「コロナ対応臨時手当」を支給しています。2024年4月には介護報酬等の改定もありますので、さらなる処遇改善ができるように、現場の声を国に発信していくとともに、適切な経営管理をつづけてまいります。

福祉楽団の介護職員の初任給（大卒）と資格手当（介護福祉士）の推移



3年ぶりに、6つの社会福祉法人と 合同で対面型の研修を開催



研修の最後には、それぞれの個人的な課題や明日からの計画を発表しました。

次世代のリーダーを育成することを目的に、6つの社会福祉法人と合同で「DrawUp! 研修」を開催しました。この研修は2015年から毎年開催してきましたが、2020年から2021年まではコロナの影響で中止となり、2022年度は3年ぶりの開催となりました。参加法人は当法人のほか、愛川舜寿会（神奈川県）、小田原福祉会（神奈川県）、合掌苑（東京都）、しんまち元気村（群馬県）、生活クラブ（千葉県）で、計18名の職員が参加しました。全2回の1回目は、7月に1泊2日で千葉市内のホテルで開催し、他法人の職員とのディスカッションなどで悩みや経験を共有し、自法人の強みと課題を考えました。2回目は、10月にお互いの職場を訪問し、実際の取り組みを見聞きました。他法人との交流で視野を広げたり、新しい気づきを得ることで、次世代を担うリーダーとしての役割を知る機会となりました。

02

03

「地域ケアそうか」を開設

埼玉県草加市から「重層的支援体制整備事業」を受託し、2022年10月から「地域ケアそうか」を開設しました。この事業は、子どもからお年寄りまで、障害の有無を問わず、どんな人のどんな困りごとにもワンストップで対応し、直面する課題の解決と、地域での暮らしに伴走しながら支援していく事業です。新しい事業ですので、市民や関係機関に知っていただく広報に力を入れています。地域包括支援センターや基幹相談支援センター、地域の医療機関や相談支援機関、市内スクールソーシャルワーカーや保護司会などに事業の説明を行いました。2022年度の相談件数は延べ266件で、そのうち3割は「これまで、どこに相談すればよいかわからなかった」というケースでした。



2023年度は訪問介護やケアプランの相談など「生活を整える」体制を構築します。



形状はシンプルなドーナツ型。手作業でひとつひとつ丁寧に作ります。

香取市の赤ちゃんに木の玩具を贈る 「森の輪プロジェクト」がスタート

「栗源第一薪炭供給所（1K）」では、赤ちゃんの木の玩具「森の輪」の製造を始めました。赤ちゃんが舐めたり、噛んだりする「歯固め」になります。2019年の台風で倒れた木などを原材料に、1Kで障害のある人などの就労支援の一環として加工、製造しています。加工や製造の過程では千葉県立香取特別支援学校の協力をいただいています。2022年度は300個を香取市に納入し、市の保健師さんが4か月児健康診査のときに赤ちゃんに配布しています。森林環境譲与税を財源に実施され、森林の保全だけでなく、障害のある人の就労支援や、子育て支援までがつながる面白い事業になっています。

04

「杜の家くりもと」の大規模修繕工事が完了

「杜の家くりもと」は、築20年が経過したことから、2022年10月から2023年3月にかけて大規模修繕工事を行いました。屋上防水工事、テラスの改修、外壁の塗装などを行い、工事費は6,226万円でした。また、県道から施設までの道路沿いの支障木についても伐採を行っています。道路が明るくなって安全に通行できるようになりました。

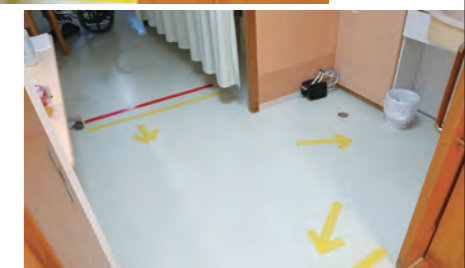


設立記念日には、20年間毎年欠かさず職員におまんじゅうをふるまっています。

05

新型コロナウイルス感染症対策

2022年度は、特別養護老人ホームのある3つの拠点で合計7件の集団感染（クラスター）が発生し、施設の利用制限などを行いました。感染者の延べ人数は、入居者等84人、職員157人となり、介護職員等の就業制限等により介護現場への負担が高い状態が続きました。施設でのワクチン接種は延べ1,138回となっています。ワクチン接種の手配、段取りについて、施設には何らの報酬がない状態が続いており施設運営の負担が大きくなっています。インフルエンザなどほかの感染症との同時流行も懸念されたため、感染対策の備品や検査キットを追加で備蓄するなどの対応をすすめてきました。

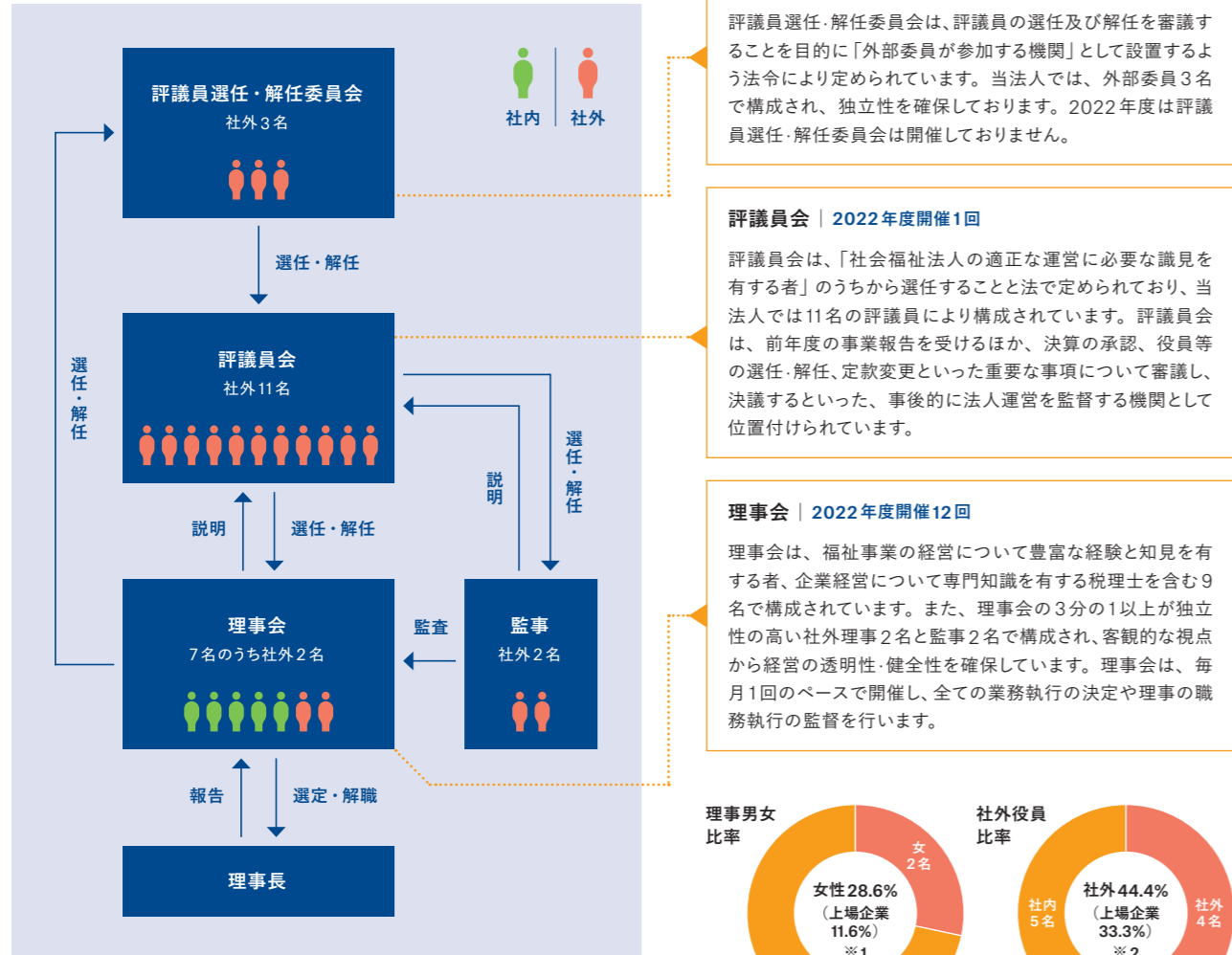


施設内をゾーニングした様子。居室はレッドゾーンにし退室時の動線を徹底しました。

■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当法人は、持続的な成長と事業活動の社会的価値の向上を重要な価値としております。その実現のためには、ご利用者、取引先、地域社会、職員などと良好な関係を築くとともに、最善の福祉実践をしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

■ コーポレート・ガバナンス体制



※1 東洋経済新報社「役員四季報」よりプライム市場上場企業の「取締役、監査役、執行役」における女性割合を算出
※2 「コーポレートガバナンス・コード」において、プライム市場上場企業の独立社外取締役の選任は3分の1以上とされている

■ 役員報酬

理事および監事の報酬は、2017年3月23日の評議員会で制定した役員等報酬規程に基づき、理事会および監事の協議を経て、2022年6月12日の定時評議員会で決議されています。

| 区分 | 人数 | 報酬等の総額 | 内訳 | | |
|--------|----|--------|-------|--------|------|
| | | | 基本報酬 | 業績連動報酬 | 特別報酬 |
| 理事(社内) | 6名 | 1,881 | 1,881 | — | — |
| 理事(社外) | 1名 | 60 | 60 | — | — |
| 監事 | 2名 | 120 | 120 | — | — |
| 合計 | 9名 | 2,061 | 2,061 | — | — |

(単位:万円)

“くらし”を良くするケアの拡張

2022年度の福祉楽団は、「地域ケアそうか」や児童養護施設の整備事業のほかにも、まったく新しい事業を模索したり、再犯防止のための相談援助のあり方の構想など、果敢にチャレンジをしていました。事業計画を作り込み、金融機関と連携しながら積極的な事業投資をしていくというスタンスだと捉えています。福祉楽団はアップテンポにケアの領域を拡張しています。子ども、障害者、高齢者まで多様な社会の参加者のくらしを支え、社会課題を世の中に明らかにしてアクションしてくれている。そんな期待感があります。

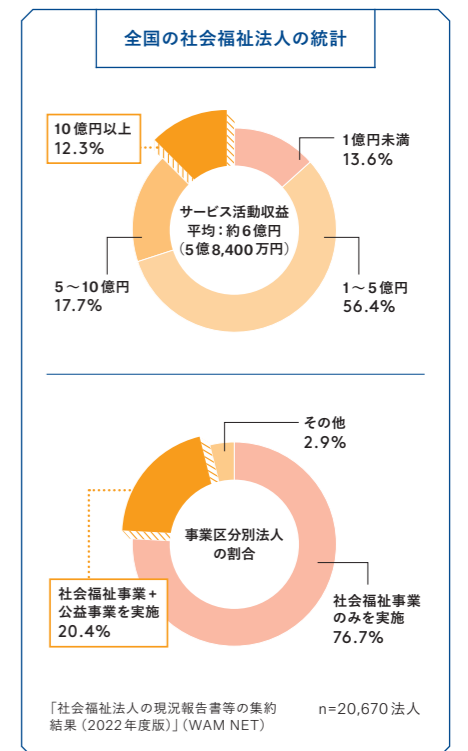
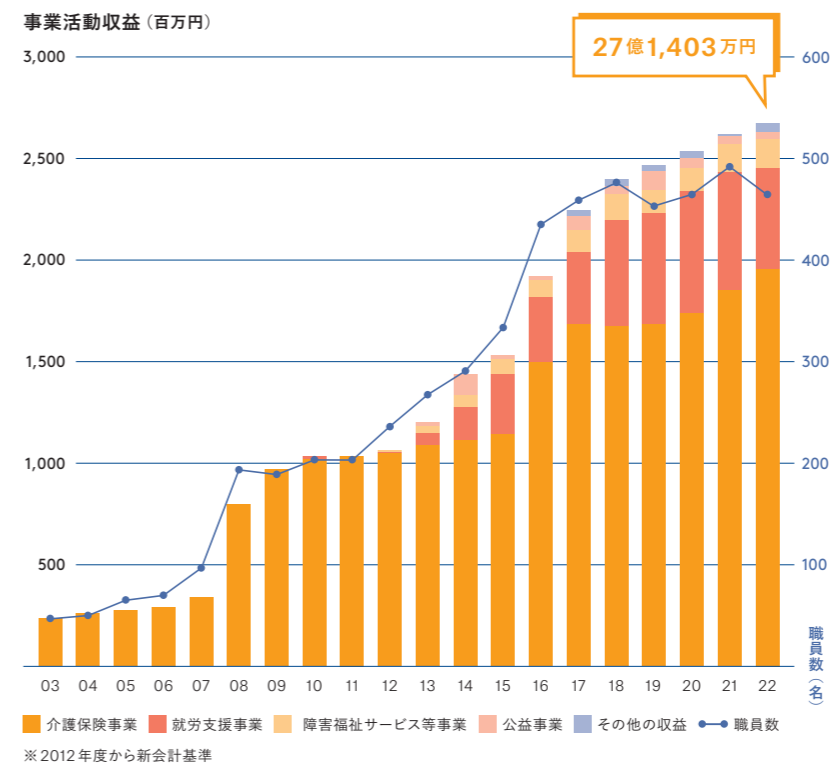


監事
星川 望 | 税理士

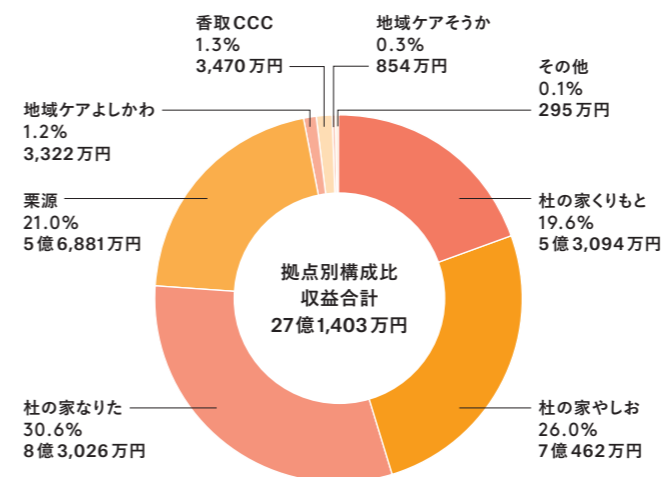
財務ハイライト

- ▶ サービス活動収益(売上高)は、前期比2.06%増収の27億1,403万円となりました。
- ▶ 杜の家くりもと拠点区分、杜の家やしお拠点区分においては、光熱費や資材費の高騰が響き、増収減益となっています。
- ▶ 杜の家なりた拠点区分は、地域向けのサービスが堅調に推移し、増収に寄与しました。
- ▶ 栗源拠点区分は、「恋する豚研究所」の経常黒字をなんとか確保し、農林事業部は赤字となりました。
- ▶ 電気とガスの費用は、前期比151.31%の4,058万円増となりました。

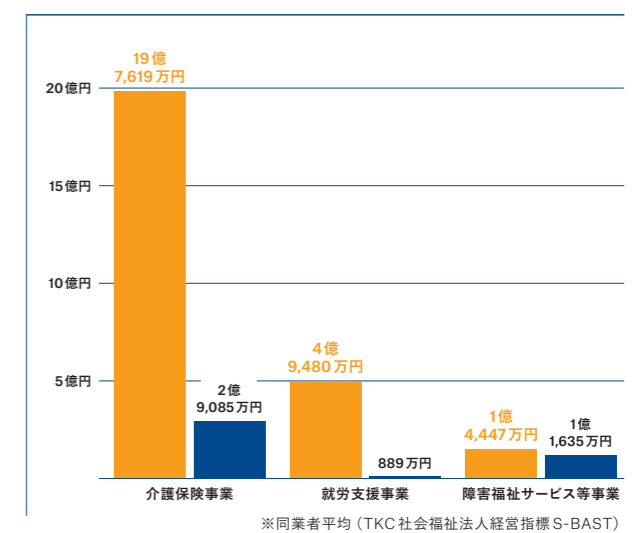
事業活動収益と職員数



収益内訳



同業者との比較



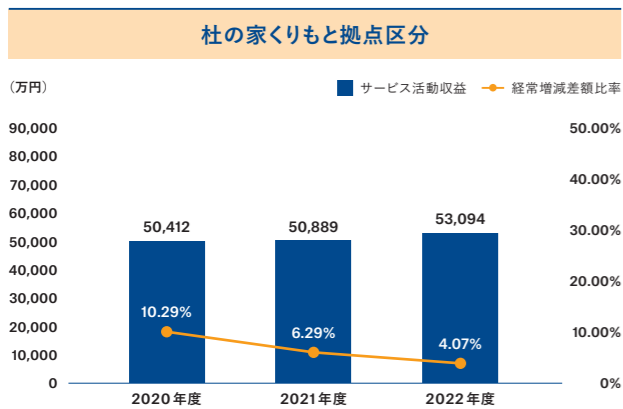
事業の経過およびその成果

当会計年度におきましては、ロシアによるウクライナ侵攻の影響から燃料や物価の上昇が続いており、光熱費、食材費、介護材料費等が高騰しています。また、労働市場全体においても賃上げの動きが少しずつ広がっていることに加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策への疲れから、介護・福祉業界からの人材離れも見られるようになってきており、介護人材の確保は難しさを増しています。長期金利も上昇傾向になっていることから施設整備資金の調達条件等に影響する可能性もあり、今後の事業環境を注視していく必要があります。

このような状況のなか、「ケアを考え「くらし」を良くし福祉を変える」活動を着実に展開し、地域社会に向き合っていく社会福祉法人として事業に取り組んでまいりました。特別養護老人ホームでは、「ごはんの日」などの地域活動を再開したほか、行政からは新たに「重層的支援体制整備事業」を受託し、新しい事業拠点を開設しております。

COVID-19の感染対策については、感染管理チームや定例での法人全体の感染対策会議を継続して開催してきておりましたが、市中感染者が急増し、当法人の職員においても、発熱や体調不良などによって就業制限となる事態が相次ぎました。こうしたことが職員全体の労働負荷を高め、離職者を増加させる一因となったことは否めません。それでも、COVID-19に感染し行くあてのない在宅の要介護者に訪問介護の提供を継続するなど、利用者の視点に立ったサービス提供を実践してまいりました。

当法人の当会計年度のサービス活動収益（売上高）は、前期比2.06%増の27億1,403万円となりました（これには、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金1,988万円、物価高騰対策関連補助金780万円を含みます）。特別養護老人ホームのある3つの拠点では、稼働率管理が奏功したことや、補助金等の支援があったことから、すべての拠点で過去最高のサービス活動収益となりました。



増収減益 公益事業を展開しニーズを発掘していく姿勢が必要

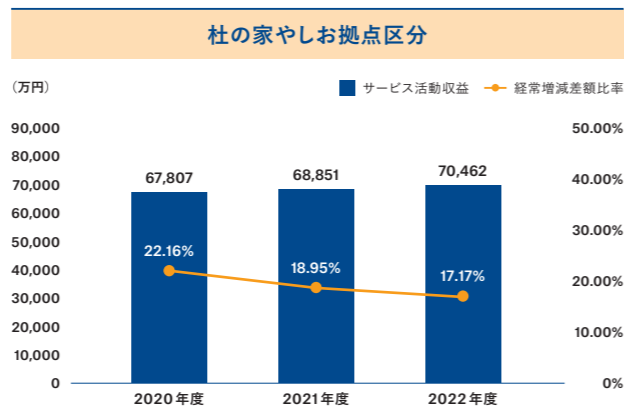
杜の家くりもと拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比4.33%増の5億3,094万円となりました。特別養護老人ホームやショートステイ等のベッド稼働率は前期から大幅に改善し、前期比2.74%増の101.55%となりました。通所介護は、COVID-19のクラスター発生にともなって2022年9月から10月にかけて受け入れ制限を行ったことなどから、前期比4.23%の減収となりました。訪問介護は前期比5.09%増収、居宅介護支援は前期比12.68%増収となりました。拠点全体では、人件費コントロールは適正化しつつあるものの、光熱費や資材費の高騰に追いつけず、経常増減差額（経常利益）は前期比32.49%減（▲1,039万円）の厳しい結果となりました。

が、経費増を吸収することはできませんでした。

2022年4月から開始された国の介護職員等処遇改善によって、すべての介護職員の賃上げを実施し、フルタイム勤務者では月5,140円の賃上げを行っております。また、2022年12月には、COVID-19に対応した介護職員や看護師等に、一人最大64,000円、処遇改善の臨時手当としてフルタイムの介護職員に一人25,000円の一時金の支給を行っております。一方で、職員の教育研修費は、COVID-19の影響により集合研修が開催できなかったことから、コロナ前の2018年度と比較すると、527万円減となっております。コロナ禍が人材育成を停滞させている可能性があります。

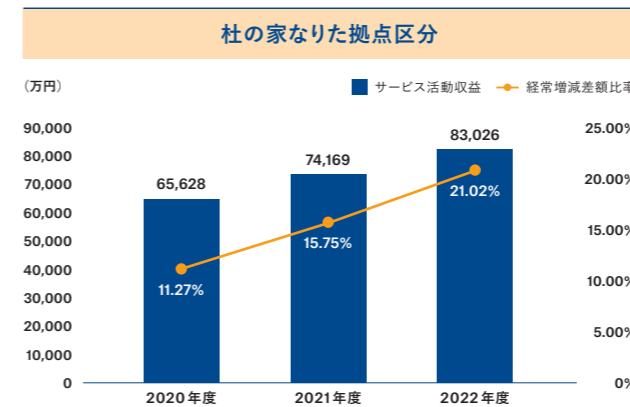
法人全体の電気料金については節電などを徹底し電気の使用量は前期比1.0%減少しているものの、電気料金は3,734万円増、紙おむつや使い捨て手袋などの単価は2%~7%の値上がり、食材費も食用油や野菜、肉製品など全般的に10%~100%の値上がりとなり、厳しい事業運営となっております。事業費と事務費を合わせた経費は、前期比12.79%（5,777万円）増となりました。これらの物価高を背景として、一部の特別養護老人ホームにおいて、2022年10月から利用者から徴収する居住費や日用品費の見直しを行わせていただきました。また、特別養護老人ホーム及び、短期入所の事業では、2022年12月から2023年2月にかけて合計5件のCOVID-19クラスターが発生し、施設の新規受け入れの停止を行った日数は延べ81日となりました。

法人全体でのサービス活動増減差額（営業利益）は、前期比20.79%（2,270万円）増、経常増減差額（経常利益）は、前期比24.85%（2,591万円）増となりました。特別増減は、杜の家くりもと拠点区分において「大規模修繕」を行い、それに伴う費用6,226万円と、大規模修繕の国庫補助金収益5,000万円を計上しております。これらにより、当期活動増減差額（最終利益）は、1億2,547万円（最終利益率4.62%）となりました。



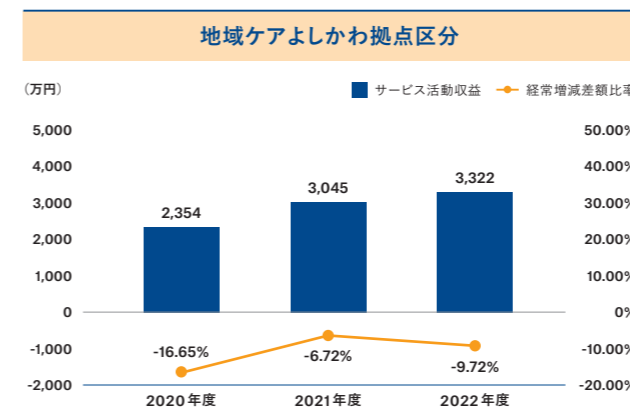
増収減益 地域向け事業は成長の余地あり 危機管理などマネジメント力向上が課題

杜の家やしお拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比2.34%増の7億462万円となりました。特別養護老人ホーム、ショートステイのベッド稼働率は100.24%となり前期比0.27%減で微減したものの、おおむね順調に推移しました。訪問介護の売上高は、前期比10.41%（325万円）増、居宅介護支援は前期比2.49%減（▲81万円）、ツルガンネ保育所は、前期比9.31%（179万円）増となりました。人件費は、前期比4.09%（1,558万円）増となり、事業費と事務費を合わせた経費は前期比6.55%（843万円）増となっております。当拠点の経常利益率は、前期比7.27%の減収となりました。保育所の地域枠の拡大や、訪問介護など地域向け事業は職員を確保できれば成長を見込む余地があります。次世代を担う人材の育成や、事業規模の拡大に伴ったリスクマネジメントの適正化が課題となっております。



増収増益 人材定着が喫緊の課題 「バケツの穴」をふさいでいきめられない人材育成に取り組む

杜の家なりた拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比11.94%増の8億3,026万円となりました。特別養護老人ホーム、ショートステイのベッド稼働率は、101.77%と堅調に推移しましたが、COVID-19による外国との渡航制限が緩和されたことで母国へ帰国する職員が相次いだことや、COVID-19による職員の就業制限等により職員の労働負荷が過剰になったことに加え、マネジメント不全もあったことから職員が定着せず、いわば「バケツに穴が開いた状態」となりました。通所介護、放課後デイ、居宅介護支援等の地域向けのサービスも堅調に推移し、売上高の増加に寄与しました。事業費と事務費を合わせた経費は、光熱費の高騰などにより、14.62%（1,923万円）増となりました。当拠点の経常利益率は前期比5.28%増となりました。



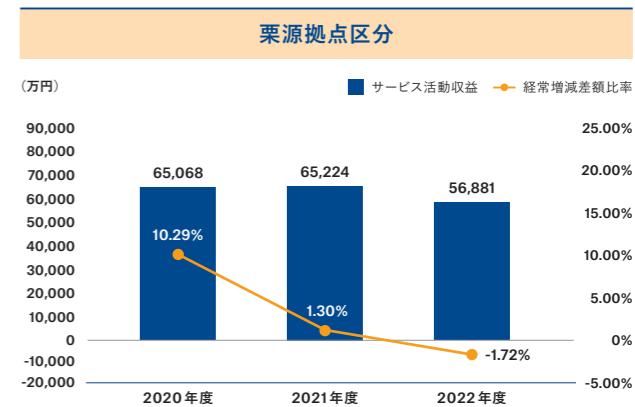
地域や行政と連携したサービス展開を継続

地域ケアよしかわ拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比9.08%増の3,322万円となりました。訪問介護事業、居宅介護支援事業ともに件数を伸ばしましたが、経常増減差額は▲323万円となっております。

地域ケアそうか拠点区分

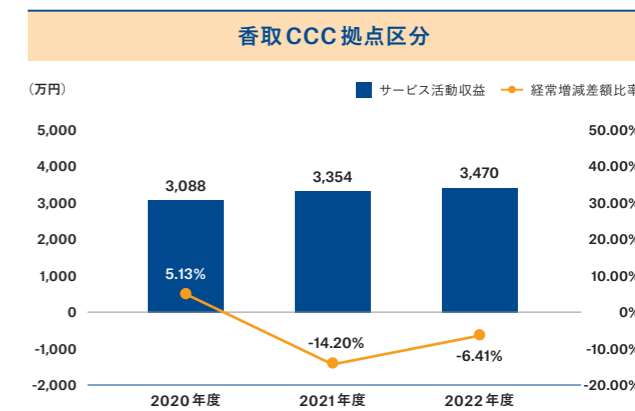
地域ケアの拠点づくり・地域と連携した事業の展開

2022年10月から埼玉県草加市より「重層的支援体制整備事業」を受託し事業を開始しました。地域ケアそうか拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、853万円で全額が行政からの受託売上となっております。先行的な経費がかかっているところです。オフィス整備に当年度に1,096万円支出しております。



恋豚事業 減収減益 適正な値上げで利益の出る体質をつくる 農林事業 減収減益 徹底したコスト管理と就労Bの利用者を増やす

栗源拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比12.79%減の5億6,880万円となりました。「恋する豚研究所」事業の精肉の卸売事業は2022年10月から大幅な値上げをした影響などもあり、サービス活動収益（売上高）は前期比12.03%減の5億4,886万円でした。光熱費や資材コストが上昇したことから、事業費と事務費を合わせた経費は、前期比46.13%増となりました。経常利益率は、前期比1.00%減の0.23%となりました。「1K・農林事業部」は、就労継続支援B型の利用者が増えず、農作物やスイートポテト、加工品の売上も減少したことから、サービス活動収益（売上高）は前期比14.70%減となり、経常利益率は、前期比33.24%減の▲30.66%となりました。



相談支援の質的向上・客観性をもった支援体制づくり

香取CCC拠点区分のサービス活動収益（売上高）は、前期比3.48%増の3,470万円となりました。コロナ禍における相談支援体制の強化や相談者への食料支援を行うため、新たに助成を受けて事業を実施するなどしたこと増収となりました。2022年12月に香取市の「生活困窮者等自立支援事業」の事業者へ採択され、2023年4月から事業を開始するための先行的な経費や、人材採用にかかわる費用がかかっております。また、業務効率化と建物の耐震安全性を考慮し2023年3月にオフィスを移転いたしました。相談業務の質的向上と、ICT活用による業務の効率化をすすめています。

1 対処すべき課題

1

人口減少地域における事業の安定化に向けた取り組み

人口減少がすすんでいく地域での労働力を確保していかなければ、事業継続ができません。人材の採用、多様な職員が働きつづけられるようにするための基盤づくりに取り組みます。

介護サービスも供給過多となっている地域もあることから、そうした地域では選ばれる福祉事業者である必要があります。制度事業だけではなく、公益的な取り組みを積極的に展開することで、埋もれている福祉ニーズが発掘できます。そうしたニーズに応じて、市民のための福祉を提供していくことが、結果として事業の安定化につながると考えております。「ごはんの日」(だれでも食堂)や「杜バス」(買い物支援)などの公益的な取り組みのほか、民生委員などと連携しての見守り活動などにも積極的に取り組んでまいります。

3

人材の定着

人材の採用や育成をいくら強化しても、人材が定着しなければすべて無駄になってしまいます。まず、「バケツの穴」をふさぐための具体的な行動が必要になっております。介護労働安定センターの統計では、離職の一番の理由は「職場の人間関係」であることから、人材の定着のためには、職場におけるコミュニケーションのあり方を見直すこと、管理職が率先して、明るい雰囲気をつくり活力ある職場づくりをすすめます。また業務改善は現場からという考え方のもと、管理職が積極的に現場の声に耳を傾け、丁寧な対話と、改善すべき具体的な行動につなげられるようにいたします。「なぜそうするのか」という仕事の意味を伝え、法人の目指すべき理念を伝えることをこまめに行ってまいります。

5

バックオフィスの効率化とデジタル化への対応

肥大傾向になってしまいがちなバックオフィスはつねに効率的な運営を意識し、コスト管理を行ってまいります。バックオフィス職員の業務負担が過大にならないようにアウトソースの活用などを検討しながら、長期的な視点に立った業務改善に取り組みます。現場からのリクエストに応えるだけでなく、現場に提案し、ソリューションできるようなバックオフィスに変革していく必要があります。

書類の電子化を着実にすすめるほか、備品の管理やご利用者への日常生活用品の販売管理についてもデジタル化をすすめ、中間の事務にかかるコストを削減します。

2

ケアの質、相談支援の質の向上に向けた取り組み

ご利用者の安全を確保し、人権が守られるように安全・CSのための取り組みを行ってまいります。職員や家族等からの虐待が疑われるケースは、早期に発見、情報共有し、ケアの方法やかかわりが改善できるようにいたします。不適切なケアや言葉遣いの乱れの延長線上に人権侵害や虐待があることを再認識し、職員教育や、職員同士のコミュニケーションのあり方を改善、工夫してまいります。戦後世代が後期高齢者となり、その世代が経験してきた社会情勢や文化に合わせた介護のあり方が求められます。ひとりひとりのニーズに合わせた個別ケアの取り組みを一層すすめていく必要があります。また、ご利用者やご家族などが、特別養護老人ホームなどの施設で提供されるケアや、当法人の取り組みについて理解しやすいように情報発信の仕方や、丁寧な説明を行ってまいります。

4

人材の大胆な抜てきと処遇改善

人材を大胆に抜てきし、任せていくことで、その職員の能力や持てる力を引き出します。法人立ち上げ当初のときの大胆さがなくなり、問題を起こさないような人事判断になりつつあるなかで、次の成長のための人材育成につなげていく必要があります。また、当法人の職員の給与処遇は市場一般を下回ることがないように最大限の支払いを行います。介護職員の働き方、業務負担の軽減についても介護記録の簡素化やICTの活用など、具体的な取り組みをすすめてまいります。また、すべての職員が市場一般を知る機会をつくること、仕事の責任と成果に応じた支払い、丁寧なコミュニケーションと納得感のある処遇を行ってまいります。

6

新しい事業領域の開拓と報酬改定への対応

千葉県、埼玉県、神奈川県の実地での福祉計画や、第9期介護保険事業計画の策定に向けた動きについて情報を収集し、今後の事業展開の方向性について検討をすすめます。2024年4月の介護報酬改定に備えて情報収集と準備を行います。

重層的支援体制整備事業や生活困窮者自立支援事業などについて自治体と連携し、積極的に提案を行いながら、市民のための地域福祉が推進できるように取り組みます。児童養護施設等を整備する「実契パークサイドプロジェクト」については2023年夏に着工を予定し開設準備を進めてまいります。障害者のグループホームについては、2023年度中の着工を目指します。

BASIC DATA

基礎データ

職員について

働き方の区分

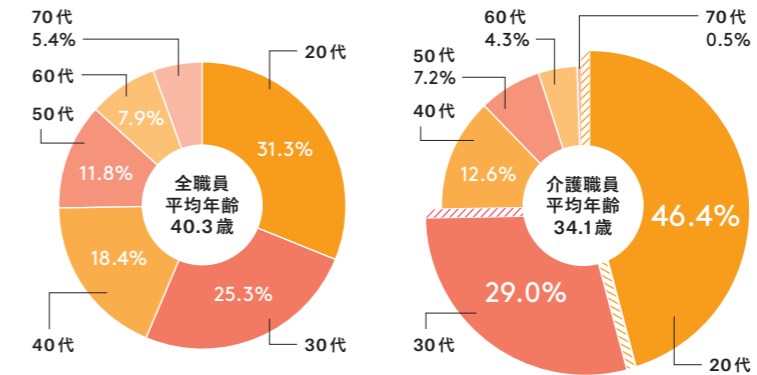
▶働き方の区分は「労働時間の長さ」と「勤務の柔軟性」の組み合わせにより9区分に分類されます。1日4時間や週3回勤務など、ライフステージやそのときのやりたいことに応じて働き方を選ぶことができます。また、働き方を問わず全職員が無期雇用となります。

| | F 事業所限定 (変則勤務不可) | R 事業所限定 (変則勤務可) | N 全拠点 異動可 | 計 |
|-------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|-----|
| 1 週30時間以上40時間以内 | 60 | 253 | 15 | 328 |
| 2 週20時間以上30時間未満 | 56 | 1 | 0 | 57 |
| 3 週20時間未満 | 81 | 1 | 0 | 82 |
| 計 | 197 | 255 | 15 | 467 |

労働時間の長さ
長
短

勤務の柔軟性
小
大

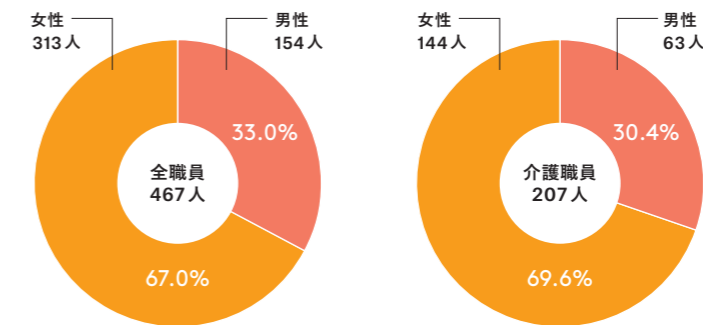
年齢



▶介護職員における全国平均年齢は47.7歳(※)です。福祉楽団の介護職員は20代から30代の職員が75%を占めており、若い職員が活躍しています。

※全国平均年齢は「令和3年度 介護労働実態調査」(介護労働安定センター)を参照した。

男女比



▶課長相当職以上(役員を含む)の男女比は、男性が57.9%・女性が42.1%となっています。企業規模300~999人における全国平均の比率は、男性が92.2%・女性が7.8%(※)のため、全国平均より多くの女性が管理職として活躍しています。

※全国平均は「令和3年度 雇用均等基本調査」(厚生労働省)を参照した。

障害者の雇用率

4.57%

(障害者の法定雇用率 2.25%)

▶民間企業の全国平均は2.25%(※)ですが、福祉楽団では4.57%となっています。法人全体で41名の障害のある人を雇用しています。

※全国平均は「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」(厚生労働省)を参照した。

外国籍職員の雇用状況

(単位:名)

| 国籍 | 在留資格 | | | | | 合計 |
|--------|------|------|------|-----------|-----|----|
| | 介護 | 特定技能 | 技能実習 | 特定活動(EPA) | その他 | |
| インドネシア | 1 | 7 | 0 | 21 | 0 | 29 |
| ベトナム | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フィリピン | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 10 |
| 合計 | 1 | 7 | 0 | 31 | 0 | 39 |

グステイ さん (32)

杜の家やしお
ケアサービスワーカー
インドネシア出身



大学時代の先輩が「杜の家やしお」で働いていたので、福祉楽団を選びました。4月から日本語研修が新しくなり、グループで一緒に学べて授業もわかりやすいので勉強のモチベーションが上がりました。休みの日は家で映画を見たり、back numberやLiSAを歌って録音した歌を聞いて楽しんでいます。インドネシアの食材は上野や秋葉原に買いに行きます。今後は介護福祉士を取得して、日本で長く働きたいです。

2021年6月 EPA介護福祉士候補者として福祉楽団に入職

平均勤続年数・採用率・離職率

■ 介護職員

| | 平均勤続年数 | 採用率 | [全国平均] | 離職率 | [全国平均] |
|--------|--------|-------|---------|-------|---------|
| 2020年度 | 4.4 | 13.6% | [18.0%] | 6.4% | [15.3%] |
| 2021年度 | 3.9 | 29.4% | [16.0%] | 13.8% | [14.9%] |
| 2022年度 | 5.0 | 25.5% | [14.8%] | 22.9% | [14.1%] |

▶ 新型コロナウイルス感染による渡航や行動制限が緩和されたことにより、外国籍職員の帰国等による退職が3割を占め、離職率の増加につながりました。外国籍職員を除いた介護職員の離職率は14.4%となりました。

※全国平均は「令和3年度 介護労働実態調査結果」(公益財団法人介護労働安定センター)を含む過去3年分を参照した。

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用(離職)率=当該年度の採用(離職)者数÷前年度末日の在籍者数

■ 全職員

| | 平均勤続年数 | 採用率 | [全国平均] | 離職率 | [全国平均] |
|--------|--------|-------|---------|-------|---------|
| 2020年度 | 5.4 | 14.6% | [16.2%] | 9.0% | [14.4%] |
| 2021年度 | 5.6 | 22.8% | [14.7%] | 13.8% | [14.2%] |
| 2022年度 | 6.1 | 18.4% | [14.4%] | 19.1% | [13.5%] |

※全国平均は「令和3年度 雇用動向調査結果」(厚生労働省)を含む過去3年分を参照した。

※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用(離職)率=当該年度の採用(離職)者数÷前年度末日の在籍者数

■ 新規卒者の状況

| | 採用者数 | 3か月未満の離職者数 | 3か月以上6か月未満の離職者数 | 6か月以上1年未満の離職者数 | 1年未満の離職者数 |
|--------|------|------------|-----------------|----------------|-----------|
| 2020年度 | 17 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 2021年度 | 22 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 2022年度 | 22 | 0 | 1 | 5 | 6 |

▶ 新型コロナウイルスの感染者が増え、職員の就業制限やクラスター対応などにより、個別の職員へのフォローが行き届かず、離職者数が増加しました。2023年度は、積極的に現場の声に耳を傾け、丁寧な対話と、改善すべき具体的な行動につなげてまいります。

有給休暇等の取得状況

■ 年次有給休暇の取得状況

| | 付与人数 | 付与総日数 | 取得総日数 | 取得率 | (前年度) | [全国平均] |
|--------|------|---------|---------|-------|---------|---------|
| フルタイム | 278 | 4,229.0 | 3,326.5 | 78.7% | (72.7%) | — |
| パートタイム | 157 | 1,854.0 | 1,564.0 | 84.4% | (81.5%) | — |
| 法人全体 | 435 | 6,083.0 | 4,890.5 | 80.4% | (75.5%) | [58.3%] |

※全国平均は「令和4年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照した。

■ リフレッシュ休暇の取得状況

① 12日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続6か月以上の職員が対象)

| | 付与人数 | 付与総数 | 取得総数 | 取得率 | (前年度) | 平均連休日数 | (前年度) | 最長休日数 |
|------|------|-------|-------|-------|----------|--------|--------|-------|
| 介護職員 | 101 | 505 | 500 | 99.0% | (100.0%) | 13.8 | (13.2) | 30 |
| 法人全体 | 209 | 1,045 | 1,010 | 96.7% | (99.5%) | 12.4 | (12.6) | 30 |

② 7日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続3年以上の職員が対象)

| | 付与人数 | 付与総数 | 取得総数 | 取得率 | (前年度) | 平均連休日数 | (前年度) | 最長休日数 |
|------|------|------|------|--------|---------|--------|-------|-------|
| 介護職員 | 83 | 249 | 249 | 100.0% | (98.9%) | 7.4 | (7.4) | 14 |
| 法人全体 | 176 | 528 | 513 | 97.2% | (97.7%) | 7.0 | (7.0) | 24 |

■ 育児休業の取得状況

| | 出産者数(男性は配偶者) | 取得者数 | 取得率 | [全国平均] |
|----|--------------|------|------|--------|
| 男性 | 2名 | 0名 | 0% | 13.97% |
| 女性 | 4名 | 4名 | 100% | 85.10% |

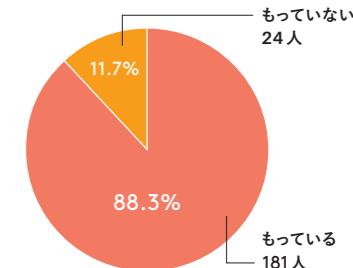
※全国平均は「令和3年度 雇用均等基本調査」(厚生労働省)における「育児・介護休業制度等に関する事項」を参照した。

介護職員の介護系資格保有割合

▶ 特別養護老人ホームの介護職は無資格であっても勤務できますが、無資格の職員を減らしていくことが課題となっています。新規学卒者は、新入職員研修を受講すると全員が「介護職員初任者研修」の修了資格が取得できるようにプログラムされています。

■ 資格種別

| 資格種別 | 保有人数 | 保有割合 |
|-------------|------|-------|
| ホームヘルパー2級 | 5 | 2.4% |
| 介護職員初任者研修修了 | 35 | 17.1% |
| 介護職員実務者研修修了 | 23 | 11.2% |
| 介護福祉士 | 96 | 46.8% |
| 外国の看護師等の資格 | 22 | 10.7% |
| いずれかの資格保有者数 | 181 | 88.3% |



研修

▶ ケアの質の向上には、職員の育成は欠かせません。福祉楽団では仕事の実践に必要な具体的なスキル(知識や技術)の研修のほかに、コンピテンシー(行動や思考の特性)の研修を充実させています。職員ひとりひとりの能力を引き出し、広く社会で活躍できる人材を育成します。

■ 研修費総額

| | 当年度 | 前年度 | 前期比 |
|-------|-------------|------------|--------|
| 研修費総額 | 16,664,749円 | 9,266,924円 | 179.8% |

■ 主な研修

| | |
|-------|--|
| 階層別研修 | 新入職員研修、1年目職員研修、2年目職員研修、3年目職員研修、ユニットリーダー研修、事業部長級マネジメント研修 |
| 選抜型研修 | 面談スキル研修、FGプレミアム研修、Draw Up!研修、組織・人材プロフェッショナル養成講座、マネジメントの原理原則を学ぶ管理職基礎研修、介護現場でつかえる「やさしい日本語」研修、介護職員実務者研修、介護支援専門員 合格講座、社会福祉法人 経営塾 |
| 職種別研修 | ケア原論研修、KOMIケア研修、契約事務初任者研修、食事サービス課研修 |
| 海外研修 | フィリピンでの介護人材育成の視察研修、インドネシアでの介護人材育成の視察研修、インドでの「コンパッションシティ」プロジェクト視察研修 |

賃金の状況

| | 平均勤続年数 | [全国平均] | 平均年収 | [全国平均] | 平均年齢 | [全国平均] |
|-------------------|--------|--------|---------|-----------|------|--------|
| 介護職員 | 7.8 | [7.5] | 3,547千円 | [3,560千円] | 34.5 | [43.1] |
| 相談援助職(介護支援専門員を含む) | 9.4 | [9.6] | 4,202千円 | [4,346千円] | 35.0 | [46.6] |
| 全職種 | 8.4 | — | 3,908千円 | — | 39.6 | — |

※全国平均は「令和3年 賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)から、「介護職員(医療・福祉施設等)」を参照した。

※上記は、2022年3月31日在職のフルタイム職員を対象に算出した。

※「介護職員」は、職種区分が「部長級以上」を除く職員で算出した。

※「平均年収」は、勤続年数1年以上の職員を対象にした。

退職金の状況

| 種別 | 対象者数 |
|-----------------|------|
| 確定拠出年金(401k) | 228 |
| 社会福祉施設職員等退職手当共済 | 29 |

職員能力開発支援金の支給状況

▶ 働きながら学びたい職員を支援する制度です。受講にかかる費用を貸与し、資格取得後3年間勤務すると返済義務が免除されます。

| | 人数 | 貸付金合計 |
|-------------|----|-------------|
| 制度利用者 | 78 | 16,433,985円 |
| うち 当年度新規利用者 | 20 | 2,043,506円 |

環境について

■ エネルギー・水の使用量

| 項目 | 当年度 | 前年度 | 前期比 |
|-------------------------|-----------|-----------|--------|
| ガスの使用量(m ³) | 46,407 | 42,864 | 108.3% |
| 電気の使用量(kWh) | 2,615,432 | 2,665,150 | 98.1% |
| 水の使用量(m ³) | 48,536 | 48,226 | 100.6% |

■ おむつ等の購入量

| 拠点名 | おむつ | (1人あたり) | リハビリパンツ | (1人あたり) | 尿とりパッド | (1人あたり) |
|---------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 杜の家くりもと | 13,824 | (166.6) | 21,424 | (258.1) | 92,428 | (1,113.6) |
| 杜の家やしお | 36,616 | (332.9) | 21,840 | (198.5) | 118,464 | (1,076.9) |
| 杜の家なりた | 24,120 | (201.0) | 29,200 | (243.3) | 146,048 | (1,217.1) |
| 法人全体 | 74,560 | (238.2) | 72,464 | (231.5) | 356,940 | (1,140.4) |

■ 医療廃棄物の排出量

| 拠点名 | 排出量 |
|---------|-----|
| 杜の家くりもと | 10 |
| 杜の家やしお | 36 |
| 杜の家なりた | 31 |
| 法人全体 | 67 |

(単位: 枚/年)

利用者について

ベッドの稼働率（特養・ショート・グループホーム）

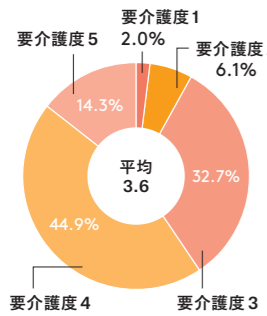
| 拠点名 | 稼働率 |
|-------------|---------------|
| 杜の家くりもと | 101.5% |
| 杜の家やしお | 100.2% |
| 杜の家なりた | 101.8% |
| 法人全体 | 101.2% |
| 全国平均（※） | 93.9% |

▶ 福祉楽団のベッド稼働率は、前期比1.60%増となっており、全国平均と比較しても高くなっています。

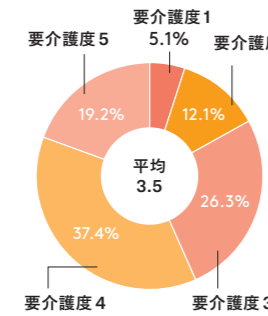
※「2021年度 特別養護老人ホームの経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）の定員規模100人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照した。

特養の要介護度

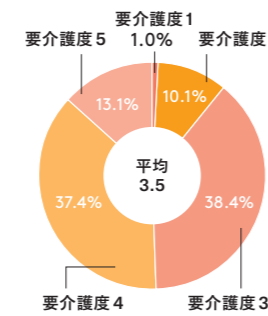
■ 杜の家くりもと



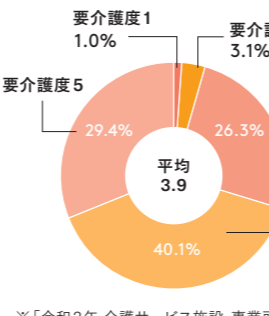
■ 杜の家やしお



■ 杜の家なりた



■ 全国平均（※）

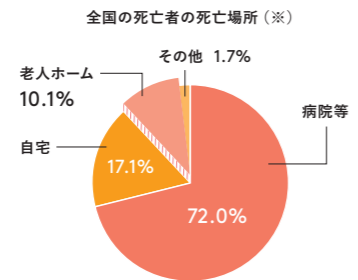


※「令和3年 介護サービス施設・事業所調査の概要」（厚生労働省）の「介護老人福祉施設」を参照した。

特養の終末期ケアの状況

| 拠点名 | 死亡退所者数 | 看取り介護加算算定件数 | 死亡場所 | | |
|---------|--------|-------------|------|-----|--------|
| | | | 施設 | その他 | 施設の割合 |
| 杜の家くりもと | 13 | 13 | 13 | 0 | 100.0% |
| 杜の家やしお | 18 | 12 | 18 | 0 | 100.0% |
| 杜の家なりた | 27 | 11 | 17 | 10 | 63.0% |
| 法人全体 | 58 | 36 | 48 | 10 | 82.8% |

▶ 死亡場所の統計を見ると、7割以上の方が病院等で亡くなります。老人ホームで死亡する人は10.1%となっています。福祉楽団では、「杜の家」で最期を迎えたいという人に対して、最期まで生活が継続できるように支援しており、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。2022年度は施設で48名のお看取りをさせていただきました。



※「2021年度 人口動態調査」（厚生労働省）から「死亡数、年齢（5歳階級）・性・死亡の場所別」を参照した。

医療的ケアが必要な方の人数

| 拠点名 | 医療用麻薬等を使用した疼痛管理が必要な方 | 在宅酸素 | 喀痰吸引 | 胃ろう・腸ろう | 経鼻経管栄養 | IVH |
|---------|----------------------|------|------|---------|--------|-----|
| 杜の家くりもと | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 杜の家やしお | 0 | 0 | 5 | 4 | 1 | 0 |
| 杜の家なりた | 0 | 5 | 3 | 4 | 0 | 0 |
| 法人全体 | 0 | 6 | 8 | 8 | 1 | 0 |

2023年3月31日現在

特養の待機者の状況

（単位：名）

| 拠点名 | 待機者数 |
|---------|------|
| 杜の家くりもと | 147 |
| 杜の家やしお | 86 |
| 杜の家なりた | 87 |

2023年3月31日現在

デイサービスの利用率

| 拠点名 | 高齢者デイ | 児童デイ |
|---------|-------|-------|
| 杜の家くりもと | 63.2% | — |
| 杜の家なりた | 73.3% | 62.9% |
| 法人全体 | 67.1% | 62.9% |
| 全国平均（※） | 70.0% | 84.3% |

※「2021年度 通所介護事業所の経営状況について」「2021年度 児童系障害福祉サービスの経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）を参照した。

訪問介護の月平均のサービス提供時間数

| 拠点名 | 提供時間数（時間） |
|----------|-----------|
| 杜の家くりもと | 374.8 |
| 杜の家やしお | 576.4 |
| 杜の家なりた | 109.2 |
| 地域ケアよしかわ | 386.1 |
| 法人全体 | 1446.4 |

ケアマネの人数と居宅介護支援の件数

| 拠点名 | ケアマネ人数 | 利用者数（要支援） | 利用者数（要介護） |
|----------|--------|-----------|-----------|
| 杜の家くりもと | 4 | 12 | 124 |
| 杜の家やしお | 5 | 8 | 151 |
| 杜の家なりた | 3 | 11 | 93 |
| 地域ケアよしかわ | 2 | 2 | 53 |
| 法人全体 | 14 | 33 | 421 |

2023年3月31日現在

OTHERS そのほかの報告事項

事故の発生状況

■ レベル5以上の事故の発生状況

（単位：件）

| 事故レベル | 福祉楽団の事故レベル定義（抜粋） | 杜の家くりもと | 杜の家やしお | 杜の家なりた | 地域ケアよしかわ | 法人全体 |
|-------|--|---------|--------|--------|----------|------|
| 5（事故） | ・全治14日以上（見込）の治療や入院が必要となった。 ・事故の結果、障害や後遺症が残った。 | 2 | 13 | 7 | 0 | 22 |
| 6（事故） | ・事故により死亡となる。（原疾患の自然経過によるものを除く。） | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | | 2 | 14 | 7 | 0 | 23 |

■ レベル5以上の事故の内訳について

（単位：件）

| 拠点名 | 骨折 | 誤嚥 | 行方不明 | その他 | 合計 |
|---------|----|----|------|-----|----|
| 杜の家くりもと | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 杜の家やしお | 13 | 1 | 0 | 0 | 14 |
| 杜の家なりた | 4 | 0 | 0 | 3 | 7 |
| 法人全体 | 19 | 1 | 0 | 3 | 23 |

虐待および身体拘束の状況

■ 虐待の状況

高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断して市町村へ通報した事案はありませんでした。

■ 身体拘束の状況

| 拠点名 | 実施実人数（名） | 実施延べ日数（日） | 内容 |
|---------|----------|-----------|--|
| 杜の家くりもと | 2 | 373 | 【特養入居者】認知症により、臥床時に陰部への不潔行為（便が手に付いた状態で顔や口を触る）があるため、臥床時のみエプロンを着用 【特養入居者】焦燥感により陰部や臀部を掻きむしる行為があり、傷つきやすいため、入浴時のみ両手に手袋を着用 |
| 杜の家やしお | 0 | 0 | |
| 杜の家なりた | 0 | 0 | |

当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあり、それらについては情報公開をしたうえで、その必要性の検討と、身体拘束の早期解除を目指して援助していきます。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い場合
- 非代替性 身体拘束以外に代替する介護方法がないこと
- 一時性 身体拘束は一時的なものであること

感染症等の集団感染状況

感染症法に定める1類から5類の感染症（2023年3月31日時点）について施設内での集団感染はありませんでした。新型コロナウイルス感染症の集団感染は以下のとおりです。

| 拠点名 | 通報先 | 通報日 | 収束日 | 感染者数 |
|---------|-------|--------------|---------------|--------------------|
| 杜の家なりた | 印旛保健所 | 2022年 7月 16日 | 2022年 8月 3日 | 7名（利用者4名、職員3名） |
| 杜の家くりもと | 香取保健所 | 2022年 9月 26日 | 2022年 10月 6日 | 9名（入居者等6名、職員3名） |
| 杜の家やしお | 草加保健所 | 2022年 12月 6日 | 2022年 12月 21日 | 10名（利用者5名、職員5名） |
| 杜の家くりもと | 香取保健所 | 2023年 1月 6日 | 2023年 2月 4日 | 40名（入居者等26名、職員14名） |
| 杜の家なりた | 印旛保健所 | 2023年 1月 9日 | 2023年 1月 26日 | 4名（入居者1名、職員3名） |
| 杜の家やしお | 草加保健所 | 2023年 1月 11日 | 2023年 1月 30日 | 13名（入居者等7名、職員6名） |
| 杜の家なりた | 印旛保健所 | 2023年 2月 3日 | 2023年 2月 19日 | 19名（入居者等14名、職員5名） |

労働災害の状況

（単位：件）

| 拠点名 | 件数 | 職種 | 災害種別 | 主な被災内容 |
|----------|----|----|---------|---------------------------|
| 杜の家くりもと | 12 | 6 | 介護職 業務 | 利用者による殴打で、右手甲の腫れと打撲。 |
| | | | 介護職 業務 | 施設のテーブルに強打し、左足第一指が亀裂骨折。 |
| | | | 介護職 業務 | 施設外の階段の凍結により転倒し、左膝打撲。 |
| | | | 介護職 通勤 | 自転車で転倒し、右足首と右掌を打撲。 |
| | | | 介護職 通勤 | 自転車で転倒し、手の裂傷と腰を打撲。 |
| | | | 介護職 業務 | ベッドから車いすへの移乗で腰痛と大腿部内側の痺れ。 |
| 杜の家やしお | 6 | — | 業務 | 新型コロナウイルス感染症（職場内感染） |
| | | | 業務 | 新型コロナウイルス感染症（職場内感染） |
| 杜の家なりた | 13 | 2 | 介護職 通勤 | 自転車で転倒し、歯牙破折。 |
| | | | 調理員 業務 | フードカッターのハンドルに強打し、舟状骨骨折。 |
| | | | — 業務 | 新型コロナウイルス感染症（職場内感染） |
| 地域ケアよしかわ | 1 | 1 | ケアマネ 業務 | 施設の駐車場で転倒し、額中央を裂傷。 |
| 合計 | 32 | | | |

車両事故の発生状況

（単位：件）

| 事故レベル | 杜の家くりもと | 杜の家やしお | 杜の家なりた | 地域ケアよしかわ | 票源 | 香取CCC | コーポレート統括部 | 法人全体 |
|--------|---------|--------|--------|----------|----|-------|-----------|------|
| 1（インシ） | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 2（事故） | 5 | 0 | 6 | 2 | 0 | 0 | 2 | 15 |
| 3（事故） | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 4（事故） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5（事故） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6（事故） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 7 | 4 | 10 | 2 | 1 | 0 | 2 | 26 |

関連当事者との取引等の内容

■ **関連当事者との取引について** 当法人は、社会福祉法人会計基準により開示対象となる取引はありません。

■ **その他** 開示対象となる関連当事者との取引はありませんが、以下の取引について公表します。

| 種類 | 法人等の名称 | 所在地 | 事業の内容 | 議決権の所有者とその割合 | 取引の内容 | 取引金額 |
|----------------------------------|----------------------|--------|---------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------|
| 役員又は評議員及びこれらの近親者が議決権の過半数を有している法人 | 株式会社生活ラボ | 千葉県香取市 | 不動産の賃貸 | 飯田大輔 (100.0%) | アパート(職員住宅)の賃料支払い | 11,100千円 |
| (関連当事者に該当ませんが、当法人が株式を所有している会社) | ケアコロポ株式会社 | 東京都渋谷区 | ソフトウェアの企画、製作、販売及び運営 | 当法人 (19.0%) 飯田大輔 (32.6%) | 介護記録システム「ケアコロポ」の利用料支払い | 3,145千円 |
| (関連当事者に該当ませんが、当法人が株式を所有している会社) | 株式会社香取農業耕社(農地所有適格法人) | 千葉県香取市 | 農作物、林作物の生産・加工・販売 | 当法人 (19.0%) 飯田大輔 (29.0%) | 農作物、林作物の生産・加工・販売の業務受託 | 3,137千円 |
| (関連当事者に該当ませんが、重要性が高いと判断した会社) | 株式会社恋する豚研究所 | 千葉県香取市 | 豚肉及び食肉加工品の企画、販売 | 飯田大輔 (45.0%) | 精肉スライス、精肉加工、梱包発送作業等の業務受託 | 349,104千円 |
| | | | | | 精肉加工品等の購入 | 4,986千円 |

内部監査

理事長は、常務理事に内部監査の担当を命じます。担当者は、内部管理体制の状況等のモニタリングを行い、法令、定款および法人の規定に照らして適正かつ有効に行われていることを確認します。これら内部監査の結果について、内部監査報告書を作成し、理事長に報告します。指摘すべき事項がある場合には、理事長の承認を得たうえで、要改善事項として指摘し、改善実施状況の確認を行います。

監事の監査報告書(謄本)

| 監査報告書 | |
|---|--|
| 社会福祉法人 福祉楽団 理事長 飯田 大輔 殿 | |
| 私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。 | |
| 1. 監査の方法及びその内容 | 2. 監査の結果 |
| 各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。 | (1)事業報告等の監査結果 ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。 (2)計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。 |
| 2023年5月18日 | 社会福祉法人 福祉楽団 監事 大原 裕介 ㊞ 監事 星川 望 ㊞ |

行政監査の結果

次の事業に対する指導項目はありませんでした。ツルガソネ保育所(認可外保育施設/2022年7月11日)、シタカタ保育所(認可外保育施設/書面)

| | |
|------|----------------------|
| 実施日 | 2022年7月27日(水) |
| 根拠法令 | 企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5 |
| 対象種別 | 企業主導型保育所 |
| 実施者 | 公益財団法人児童育成協会 |
| 実施場所 | イワベの保育所(香取市岩部869-48) |
| 監査結果 | 以下のとおり |

● **改善を要する事項** | [助成関連]
整備費の助成を受けた施設において、増員計画はあるが、未だに現員が定員の50%を満たしておらず、定員と現員に大きな乖離があるため、改めて増員計画を見直すこと。
▶ **対応結果** | 10月19日、市内の企業8社及び香取市の担当課に、別添のパンフレットを配布し、案内を申し上げてきました。次年度からの利用開始を見込み、2023年2月にも実施予定としています。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
一時預かり事業(余裕活用型)の対象児童が、月次報告において定期的な利用のない児童に含まれているので、修正等について、児童育成協会と協議すること。
▶ **対応結果** | 2022年5月分の運営費月次報告書に誤って一時利用児を記載し報告しておりました。本件について、児童育成協会と協議の上、再申請し、現在審査待ちとなっております。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
主たる開所時間における保育従事者の確認において、常勤換算の保育従事者数と月次報告の申請内容が異なるため、修正等について、児童育成協会と協議すること。
▶ **対応結果** | 2022年4月～6月分の運営費月次報告書に誤って看護師が常勤換算方法で1人工配置の記載をしておりました。本件について、児童育成協会と協議の上、再申請し、6月分は再審査を終えております。4月、5月分は現在、審査待ちとなっております。

| | |
|------|----------------------|
| 実施日 | 2022年8月16日(火) |
| 根拠法令 | 企業主導型保育事業指導・監査等基準 第5 |
| 対象種別 | 企業主導型保育所 |
| 実施者 | 公益財団法人児童育成協会 |
| 実施場所 | シタカタ保育所(成田市下方668-1) |
| 監査結果 | 以下のとおり |

● **改善を要する事項**
一時預かり事業(余裕活用型)においては、助成対象として申請している対象児童数を確認する書類がないので整備すること。
▶ **対応結果** | 一時預かりの児童についても、児童票の提出を求めており、日々の利用に関しても利用表を作成し運用しております。今後も適切に運営を行ってまいります。

● **改善を要する事項**
一時預かり事業(余裕活用型)において、小学生を預かっているが、対象外なので、早急に預かることを止めること。
▶ **対応結果** | 就学児については保育所を利用することがないよう、改めます。

● **改善を要する事項**
登降園簿による児童数と月次報告の申請内容が異なるため、修正等について、児童育成協会と協議すること。
▶ **対応結果** | 月次報告などの申請業務を外部委託しており、内部の職員が確認する仕組みが整っていなかったため、利用児童数の誤りに気づくことができませんでした。今後は、管理者も申請内容を確認するとともに、法人内部で申請業務を行うようにし、申請内容に齟齬がないよう、改善を図ってまいります。

| |
|--|
| ● 改善を要する事項 午睡時において、必要保育従事者2名に対して、1名だけの配置となっていたので、配置基準に基づいて適切な職員配置を行うこと。 ▶ 対応結果 監査当日、保育所内に職員は2名おりましたが、1名は午睡をしていない児童を見ていたため、午睡をしている児童の対応にあたる職員を2名以上配置するよう、改善を図ります。 |
|--|

| | |
|------|------------------------|
| 実施日 | 2022年11月10日(火) |
| 根拠法令 | 企業主導型保育事業指導・監査等基準 第3の5 |
| 対象種別 | 企業主導型保育所 |
| 実施者 | 公益財団法人児童育成協会 |
| 実施場所 | ツルガソネ保育所(八潮市鶴ヶ曽根606-1) |
| 監査結果 | 以下のとおり |

● **改善を要する事項** | [保育関連]
保育サービスの利用契約に当たっては、児童2名分の契約書がなかったため、契約を締結すること。
▶ **対応結果** | 令和4年11月11日付けで当該児童2名と契約書の取り交わしを行いました。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
園だよりについては、保護者への定期的な情報提供という観点から、毎月作成して提供すること。
▶ **対応結果** | 保護者にはケアコロポという記録システムを活用し、日々の予定の連絡を行っております。月間予定については連絡ができていなかったため、今後は月間予定も共有するように改善します。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
苦情への適切な対応のため、苦情処理規程を整備して苦情解決の手続きを明確化し、全職員に周知すること。
▶ **対応結果** | 法人で苦情解決に関する規程を定めており、ツルガソネ保育所についても、その規程に則り、運営を行っております。

● **改善を要する事項** | [保育関連]
保育サービスの利用に関して、保護者が、就学中の場合に必要な支給認定証のない児童が1名いるため、支給認定証を取得して提出させること。
▶ **対応結果** | 令和4年11月28日付けで取得、11月30日に提出を受けました。

● **改善を要する事項** | [経理関連]
不動産登記簿謄本において、整備費助成金を受けた施設建物は、児童育成協会の事前承認を得ないで抵当権を設定しているため、早急に児童育成協会と協議し承認を受けること。
▶ **対応結果** | 現在、児童育成協会審査部審査管理課や金融機関と協議を行っており、その結果を踏まえて、必要な手続きを進めます。

| | |
|------|----------------------|
| 実施日 | 2022年12月2日(金) |
| 根拠法令 | 児童福祉法第59条第1項 |
| 対象種別 | 認可外保育施設 |
| 実施官庁 | 千葉県 |
| 実施場所 | イワベの保育所(香取市岩部869-48) |
| 監査結果 | 以下のとおり |

● **改善を要する事項** | [利用者への情報提供] 1
重要事項説明書の以下の項目の内容を実態に即して訂正すること。
(1)「4施設・設備等の概要」
乳児室面積について、乳児室とほふく室の面積が両室の面積を合算したものとなっているため、乳児室とほふく室の面積を分けて記載すること。
▶ **対応結果** | 乳児室の面積について、別紙①「企業主導型保育所」重要事項説明書のとおり、乳児室とほふく室の面積を分けて記載し、修正しました。

(2)「10利用料金」
利用乳幼児の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から3歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、2023年2月1日から、保育所が受け入れることとしている年齢を、0歳6か月から原則として小学校就学の始期に達するまで(6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう)に変更しました。

(3)「15損害賠償について」
保険金額が保険証書記載の金額と異なるため、修正すること。
▶ **対応結果** | 別紙①「企業主導型保育所」重要事項説明書のとおり、保険証書記載の金額に修正しました。

● **改善を要する事項** | [利用者への情報提供] 2
提供するサービス内容に関する掲示について、以下の項目の内容を実態に即して訂正すること。
(1)「提供する保育の内容」
利用対象者の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から3歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、2023年2月1日から、保育所が受け入れることとしている年齢を、0歳6か月から原則として小学校就学の始期に達するまで(6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう)に変更しました。

(2)「保険加入状況」
保険金額が保険証書記載の金額と異なるため、修正すること。
▶ **対応結果** | 別紙②提供するサービス内容に関する掲示のとおり、保険証書記載の金額に修正しました。

(3)「利用料金」
利用乳幼児の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から3歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、別紙②提供するサービス内容に関する掲示のとおり、0歳6か月から3歳までと、記載を修正しました。

| | |
|------|-----------------------|
| 実施日 | 2022年12月2日(金) |
| 根拠法令 | 児童福祉法第59条第1項 |
| 対象種別 | 認可外保育施設 |
| 実施官庁 | 千葉県 |
| 実施場所 | オオバタケ保育所(香取市岩部869-60) |
| 監査結果 | 以下のとおり |

● **改善を要する事項** | [健康管理・安全確保]
継続して土曜日のみ保育している乳幼児について、健康診断を1年に2回実施すること。なお、施設において直接実施できない場合は、保護者から健康診断書又は母子健康手帳の写しの提出を受けて乳幼児の健康状態を確認すること。また、平日利用している幼稚園等で既に年2回実施済みの場合等は、幼稚園等での実施結果が確認できる書類があれば、年2回健康診断を実施しているものとするができる。
▶ **対応結果** | 継続して土曜日のみ保育している乳幼児の1年に2回の健康診断の実施について、平日利用している幼稚園等で既に年2回実施済みの実施結果が確認できるよう改善いたします。

● **改善を要する事項** | [利用者への情報提供] 1
重要事項説明書の以下の項目の内容を実態に即して修正すること。
(1)「4施設・設備の概要」
①保育所の名称、②保育室面積、③表中に、ほふく室の情報(設備の種類、設置数、面積)が記載されていないため、当該情報について追記すること。
▶ **対応結果** | 別紙①「認可外保育所」重要事項説明書のとおり、「4施設・設備の概要」に、①保育所の名称、②保育室面積、③ほふく室の情報を追記しました。

(2)「10利用料金」
利用乳幼児の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から2歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、2023年2月1日から、保育所が受け入れることとしている年齢を、0歳6か月から原則として小学校就学の始期に達するまで(6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう)に変更しました。

(3)「15損害賠償について」
①損害賠償保険の保険金額が保険証書記載の金額と異なるので訂正すること。②日本スポーツ振興センターの災害共済給付は未加入なので削除すること。③契約している傷害保険が未記載なので保険証書の記載内容を追記すること。
▶ **対応結果** | 別紙①「認可外保育所」重要事項説明書のとおり、「15 損害賠償について」、①損害賠償保険の保険金額を訂正、②日本スポーツ振興センターを削除、③契約している傷害保険を追記しました。

● **改善を要する事項** | [利用者への情報提供] 2
提供するサービス内容に関する掲示について、以下の項目の内容を実態に即して訂正すること。
(1)「提供する保育の内容」
利用対象者の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から2歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、2023年2月1日から、保育所が受け入れることとしている年齢を、0歳6か月から原則として小学校就学の始期に達するまで(6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう)に変更しました。

(2)「保険加入状況」
①賠償責任保険の保険金額が保険証書記載の金額と異なるので訂正すること。②日本スポーツ振興センターの災害共済給付は未加入なので削除すること。③契約している障害保険が未記載なので保険証書の記載内容を追記すること。
▶ **対応結果** | 別紙②提供するサービス内容に関する掲示のとおり、①損害賠償保険の保険金額を訂正、②日本スポーツ振興センターを削除、③契約している傷害保険を追記しました。

(3)「利用料金」
利用乳幼児の年齢について、保育所が受け入れることとしている0歳6か月から2歳までと異なる年齢が記載されているため、上記年齢と相違がないよう修正すること。
▶ **対応結果** | 利用乳幼児の年齢について、2023年2月1日から、保育所が受け入れることとしている年齢を、0歳6か月から原則として小学校就学の始期に達するまで(6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう)に変更しました。



自立的で創造的な人々の交わりと遊びごころのある共生社会を実現するための事業方針

誰もがありのままに、その人らしく、地域で暮らすためのアクション

子ども、高齢者、障害のある人など、だれもが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる地域共生社会を実現するため、創造的な福祉実践を展開していきます。特別養護老人ホーム等の福祉施設においても、家族や地域住民と新しいかたちでのつながりをつくり、福祉現場からの臨床研究や情報発信を積極的に行い、福祉実践に対する市民の理解を深める取り組みを展開します。産業化の進展とともに人々の生活や福祉の在り様はますます複雑化していくと考えられます。長期的な視点に立った支援のあり方や、生命の危機を見逃さないための仕組みを整えます。また、福祉事業者だけで地域の諸課題を解決することは困難です。さまざまな産業、NPO、行政、市民との協働を一層進めて、楽しく暮らせる地域社会の実現を目指します。

- 1 科学的根拠に基づくケア実践と、福祉臨床を活用したケア研究の推進
- 2 特別養護老人ホーム等の中核事業のケア実践力向上と情報発信
- 3 すべての拠点で、分野を横断した「伴走型」の相談支援体制の確立
- 4 ほかの産業やNPO、行政と協働した地域を楽しくするための事業実施
- 5 社会情勢の変化に伴う「福祉施設」の新しいあり方の検討と提案

多様性を前提とした自ら学び、創造力を引き出すチームマネジメント

職員もひとりひとり多様であるという前提にたち、職員が自立し、創造的に学び、向上していけるような機会を保障します。教育や研修という受動的かつ名詞としての人材育成ではなく、自ら学び、意欲が湧き、創造力が引き出されるようなチーム、組織のあり方を検討し、具体的に行動します。職場に少しの楽しさと、面白みをつくることを意識し、職員ひとりひとりの創意工夫やアイデアを大切にします。学びの機会創出にはICTによるツールの開発や、ほかの福祉事業者と連携するなど、より広い視野をもって実施していきます。外国籍職員の割合も高くなるなかで、そうした組織の環境に合わせた情報提供のあり方を再検討し、質の高いチームビルディングが実現されるよう工夫していきます。

- 1 職員が自ら気づき、学ぶ機会を保障し、支援します。
- 2 人事制度には「楽しさ」や「面白さ」が感じられるよう改善します。
- 3 「やさしい日本語」による情報発信の仕組みを整えます。
- 4 多様性がリアルに理解できるような機会を継続的につくります。
- 5 職員ひとりひとりの能力を信頼し、積極的な起用を行います。

安定した経営と、持続可能な経営基盤の確立

持続的な成長のためには、安定した経営基盤が必要になります。財務状況について明確な目標を定め、適切なモニタリングを実施し、即時的な業務改善につなげます。不安定要素の高い就労支援事業等には新規の投資を凍結し、既存施設の修繕や改修について計画的に進めていきます。バックオフィスの業務効率化のため、ほかの法人との連携や、すべてのコストについて見直し、最適化を図るとともに、ICTの活用やケアの質の向上、職員の業務負担軽減のための投資は積極的に行います。物品の調達にあたっては、自然環境への負荷や社会的公正について適正に評価し、調達基準を明確にします。自然災害や感染症のパンデミックなどの備えのため一定のキャッシュポジションを確保します。また、災害対策計画の見直しをすすめるとともに、備蓄品や非常時の体制について段階的に整備をすすめます。福祉楽団の事業について発信し、応援したい、寄附したいと思ってくれる人を募り、実践についてきちんとフィードバックし、寄附したことが楽しく感じられる仕組み、福祉楽団「サポーターズ」を充実させていきます。

- 1 財務状況についての目標値の設定と達成のためのモニタリングと改善
経常増減差額比率は、毎年3%以上を確保する
EBITDA [(有利子負債-現金) ÷ (経常利益+減価償却)] は、毎年12倍以内とする
2024年3月末時点でのキャッシュポジションは3億円とする
- 2 就労支援事業など収入の不安定要素が高い事業への新規投資の凍結
- 3 ICTの活用による合理化と業務改善
- 4 建物の修繕の計画的な実施
- 5 自然環境と社会的公正に配慮した調達基準の策定と実施
- 6 災害や非常時に備えた計画の見直しと備蓄等の段階的整備
- 7 福祉楽団「サポーターズ」の拡大
2021年3月120名 2022年3月140名 2023年3月160名 2024年3月180名

POLICY

2023年度 事業方針

I | 創意工夫のあるケア実践に向けた取り組み

1 | 公益事業の積極的な実施

▶ 「ごはんの日」(だれでも食堂)や、「杜バス」(買い物支援)、民生委員などと連携しての地域の高齢者等の見守り活動を積極的に実施し、介護や福祉ニーズの早期の把握に努めます。

2 | 客観的指標や分類、スケールの活用

▶ 便の性状分類「 Bristolスケール」や、意識レベル「JCS」、体格指数「BMI」など客観的な指標やスケールを用いて日常の申し送りや連絡ができるように教育、訓練を行います。

3 | 緊急時の蘇生措置の訓練

▶ 誤嚥発生時や施設内での事故発生時に応援を要請し適切に対応できるように訓練を実施するほか、背部叩打法、ハイムリック法、止血法等についてすべての介護職員ができるように訓練の機会をつくります。

4 | 処方薬や栄養の知識を習得する機会の確保

▶ 介護・看護職員に対して処方薬の基礎的な知識の学習機会をつくります。入居者等に処方されている薬の再評価を薬剤師や医師と連携してすすめます。
▶ 食事の整え方、栄養の基本的な知識の学習機会をつくります。

5 | 多様な介護実践が現場から生まれ評価する取り組み

▶ 介護現場のアイデアや、取り組み、提案を大切に、豊かな介護実践を後押しします。「やってみる」という姿勢を評価します。

3 | N2を目指す日本語学習支援

▶ 日本語を母語としないすべての職員が日本語能力試験N2を取得することを支援します。在留資格にかかわらず、必要なすべての職員に日本語の学習支援を全額法人負担で実施します。

4 | やさしい日本語の普及、研修

▶ 職場の申し送りや、連絡を「やさしい日本語」で行えるように工夫していきます。
▶ 管理職に対して、「やさしい日本語」の研修を行います。

5 | 集合研修や他施設と連携した研修の再開

▶ 若手研修や階層別研修などの集合研修をコロナ禍前の水準で開催します。
▶ リーダーやマネジメント層に対して、外部の研修機会を確保します。
▶ 現場の介護職員に対して、他施設を見学する機会をつくります。

6 | キャリア採用

▶ 専門職の採用力を強化するため、Webサイトを構築し、情報発信の方法を見直します。

IV | 事務効率化・バックオフィス

1 | 2024年4月の介護報酬改定に向けた情報収集と対応

▶ 介護制度改定に向けた議論が進んでいくことから、情報収集を行い、対応します。

2 | インボイス制度、電子帳簿保存法への対応

▶ 2023年10月から始まるインボイス制度や2024年1月から義務化される電子帳簿保存法に対応します。

3 | 事業継続計画の策定

▶ 介護保険制度で、2024年4月に「事業継続計画」の策定が義務づけられることに伴い、感染症や大地震などの災害発生時の対応について計画策定を行います。

4 | 入職手続きや勤怠管理におけるデジタル化の推進

▶ 職員の労務手続きや勤怠申請等の電子化を進め、バックオフィスの業務効率化をすすめます。

V | 実習パークサイドプロジェクトの開設準備

1 | 開設準備室の設置

▶ 2023年10月から開設準備室を設置し、各所との連絡調整や開設に向けた準備を行います。専従職員の配置を行います。

2 | 人材採用

▶ 施設の開設に必要な人材を計画的に採用します。

3 | 「OUR KIDS 基金」の創設

▶ 企業に対して事業説明を積極的に行い、寄附金の募集を行います。

VI | 新事業の推進

1 | 重層的支援体制整備や生活困窮者自立支援等の充実

▶ 自治体と連携した取り組みや情報交換をすすめます。社会的養護や里親支援などの子ども分野の施策や、自治体における再犯防止計画の施策実施などについて、行政と連携した取り組みができるよう勉強会や情報交換会を行います。

2 | 新しい社会福祉施設のあり方検討

▶ 変化する社会情勢のなかで社会福祉施設がどのような役割を果たしていくべきか、新しい社会福祉施設のあり方について検討をすすめます。

PLAN

2023年度 事業計画

杜の家くりもと事業部

01

ケアの意味や目的の理解を深め、実践力を高めます

- 日常の観察力を高めケアの記録を増やすことで、利用者の状態に合わせたタイムリーなケアをチームで展開できるようにします。
- 毎月3回以上、ケア原論や生理学のOFF-JTを開催し、実践しているケアに根拠と自信を持てるようにします。
- 褥瘡予防について勉強会を開催し、毎月実施状況を振り返ることで、褥瘡ゼロを目指します。
- 居宅介護支援は、週に1回の事業所内の会議と2か月に1回の法人全体のケース検討会議を通じて、利用者の生活の全体像を捉えたケアマネジメントを展開できるようにします。

02

施設でも住み慣れた地域での暮らしが継続できるようにします

- 「ごはんの日」を毎月開催し、地域の人気軽施設を訪れて、入居者と交流できる機会をつくります。
- 施設の清掃など、職員と入居者のご家族が協働する機会を設け、施設での生活やケアをともに考えていきます。
- 職員が、入居者の生活歴とその地域を知る機会を設け、個別のケアプランを見直します。

03

既存の事業の安定化を図りながら、新たな取り組みを始めます

- デイサービスの稼働率は、通期で70%を目指します。
- 訪問介護サービスの介護職員を上半期中に1名増員し、地域のニーズに応えられる体制を整えます。
- これまで築いてきた地域ネットワークを活かし、入居者や地域の人たちの暮らしの安心につながる取り組みを計画・実施します。

事業部長 久古 浩孝



杜の家やしお事業部

01

利用者の生命力、生活の幅を広げるケアを実践します

- 利用者の心身への負担を減らすため、薬剤師と年に3回ミーティングを行い、不必要な薬の減薬を提案します。
- 施設内でのイベント開催には、利用者にも企画から参加していただき、施設の中での役割を創出します。
- リハビリ職が利用者の自宅を訪問し、その人の暮らしを把握したうえで必要な機能訓練を提案します。
- 清掃の業務マニュアルや清掃方法を見直し、清潔な生活空間を保ちます。

02

地域の人と協同する機会をつくり、地域のニーズに沿った活動を展開します

- 地域に不足している共生型ショートステイのサービスを2023年10月に開始します。
- 水害対策訓練や救命救急講習を、地域の人と年2回開催します。
- 企業主導型保育所の地域枠を7人に広げ、地域の人が利用しやすい環境を整備します。
- 「杜の家お花畑化プロジェクト」を開催し、地域の人と入居者が一緒に、庭の樹木や花を育てていきます。

03

職員の成長のため、新たなことにチャレンジしようと思える職場環境をつくります

- 明るく前向きに働けるよう、全職員が元氣な挨拶を行います。
- 職員の新たな役割への登用や他職種、他部署への異動を積極的に行い、育成につなげます。
- 部署間でのトライアルジョブを年に3回計画し、職員が視野を広げてケアに取り組めるようにしていきます。
- 各ユニットリーダーがOFF-JTを年に1回以上開催し、講師と参加者がともに学べる機会をつくります。

事業部長 石間 太郎



杜の家なりた事業部

事業部長 安部 明子



01

持てる力を活かしながら、
望んだ暮らしが営めるよう、
ケアの質を向上させます

- 人体の構造と仕組みや介護過程について学ぶ機会を年6回設け、根拠に基づいたケアを提供します。
- ケアプランの作成時には、ご本人やご家族と対面で面談を行い、人生歴や思いを活かしたケアを考え、実践していきます。
- 入浴する時間帯や回数に変化をもたせ、入浴がもたらす効果について検証します。

02

住み慣れた場所での暮らしが
継続できるよう、
支援体制を充実させます

- 相談支援を担える介護職員を2名育成し、多様な視点でケアを考え、実践できる人材を増やします。
- 下半期には介護支援専門員を1名増員し、在宅で暮らす人の支援を拡充させます。
- 感染予防策を徹底しながら、「ごはんの日」の開催回数を月2回に増やし、地域住民と交流する機会を増やします。
- 地域住民への勉強会を開催し、介護や福祉について住民が理解を深める機会を創出します。

03

職員同士のつながりを深め、
やりがいや楽しさを感じながら
働ける環境を整えます

- 勉強会を主催するなど、リーダーが協働する機会を増やしながらかの連携を深め、ケアの実践につなげていきます。
- すべての介護職員にOJTを実施し、悩みを共有したり、自身のケアについて振り返る機会を創出します。
- 会議の参加メンバーを見直し、チームや部署にとらわれず活発に意見を交わらせるようにします。
- 多様なものの見方や考え方を養えるよう、他部署、他事業所でのトライアルジョブを年3回実施します。

地域ケアそうか事業部

NEW

2023年6月から
訪問介護・居宅介護支援が
スタート

事業部長 中村 麻里



01

断らない相談支援を行い、
自分らしい暮らし方を
一緒に考えます

- 分野や属性を問わずに困りごとを受け止め、必要な支援につなげます。また、その人らしい生き方や心地よい居場所を相談者とともに考えます。
- さまざまな困りごとに応えることができるように、月1回法人内でケース検討会議をおこない、支援の質を高めていきます。
- 埼玉更生保護地域連携拠点事業と連携し、刑余者や触法者の支援に力を入れていきます。

02

地域の困りごとから活動を起こし、
ともに取り組む仲間を増やしなが
互いを気に掛け合う地域をつくりま

- 誰でもほっとできる居場所として「みんなの食堂 おせんべ」を週1回開催し、食事を通じたゆるやかな交流の場をつくりま。
- 発達障害の当事者とともに、日常の相談や交流ができる機会をつくりま。
- 市内の中学校・高校で「地域共生社会」をテーマに出席授業を行います。
- 地域住民や市内の企業、支援に携わる関係機関に向けて研修会を開催し、事業内容について周知を図ります。

03

生活を整え、
持てる力を引き出す支援体制を
構築します

- 高齢者や障害のある人の生活支援が行えるよう、2023年6月から訪問介護事業を開始します。
- 2023年7月から居宅介護支援・特定計画相談事業を開始し、サービスを必要とする高齢者や障害のある人の相談に応えられる体制をつくりま。
- 相談者の変化に応じて持てる力を高めるケアの視点を学ぶため、職員に対し、年4回ケアプランの勉強会を行います。

地域ケアよしかわ事業部

事業部長 松本 亜季



01

安定したサービス提供を行い、
経営状況の改善を図ります

- 積極的な採用活動を行い、2024年3月末までに訪問介護職員を4名増員し、サービス提供時間を月100時間増やします。
- 訪問介護の個別支援計画を見直し、身体介護サービスの割合を増やします。
- 相談支援専門員を1名増員し、地域で不足する障害福祉サービスの相談を受けられる体制をつくりま。

02

職員ひとりひとりが自律的に行動し、
ケアの質の向上につなげます

- リーダー級職員全員が年1回以上研修の講師を務めることで、自律的に考え行動できる職員を育成します。
- 居宅介護支援ミーティングを週1回行い、課題を個人で抱え込まず、チームで検討できる体制にします。
- 人員の増員や法人内の事業所間の連携を行うことで、有給休暇の取得率を75%以上にします。
- ペーパーレス化により、月末・月初の事務作業を3時間削減することで業務負担の軽減を図ります。

03

多様なニーズに応える地域資源
としての役割を担い続けます

- 「みんなの食堂」を継続するため、2023年9月に地域住民へ向けた活動報告会を開催し、協力者や支援者を増やします。
- フードパントリー事業へ2か月に1回参加し、生活困窮者の自立をサポートします。
- 制度に捉われないソーシャルワークを学ぶため、2か月に1回、法人内のケース検討会にケアマネージャー全員が参加します。

香取CCC事業部

NEW

2023年4月から
香取市生活困窮者等自立支援が
スタート

事業部長 高木 亜希子



01

断らない相談支援を行います

- 生活困窮者や刑余者、ひきこもりがちな人、困難を抱える子どもや若者など、制度の狭間で支援につなげられない人を取りこぼしません。複合的な課題を抱えるケースは多機関と協働し支援します。
- 週1回のミーティングでは個別支援計画をもって、支援方針を協議します。課題解決だけでなく、相談者に伴走し「つながり続ける」相談支援を行います。
- 年6回以上は外部に対する事業周知の機会を持ち、関係機関や地域住民を通じて潜在的なケースにアウトリーチしていきます。

02

さまざまな人が孤立しない、
排除されない地域づくりに
取り組みます

- 月1回の「ゆうやけ食堂」を継続して開催します。地域の活動団体と寄附食品の活用や連携のネットワークづくりを行います。
- 圏域内の高校などと協働し、2023年4月より校内居場所づくり事業に取り組みます。SOSを出せない若年層とつながる道筋をつくりま。
- 下半期には居住支援法人を始動し、住宅確保要配慮者を支援する仕組みをつくりま。
- 働きづらさを抱える人が就労機会を得られるよう、月1社以上の企業に事業説明を行います。

03

職員は相談支援の力を高め合い、
各々の持てる力が活かせる
チームづくりを行います

- 生理学に基づいたアセスメントの標準化やOJTにより、相談支援の基礎を習得します。
- 朝夕礼での報告・連絡・相談を確実に行います。意見は率直に言い合い、相互にフィードバックが行えるチームづくりを行います。
- 月1回の法人内ケース検討会や、隔月開催する関係機関との勉強会「昼café」等により、スーパーバイズの機会を得ていきます。
- 外部視察や研修などを通じて、職員の視座を高める機会を月1回以上設けます。



01

より多くの人を選んでいただける
サービス、ブランドを目指します

- 就労継続支援B型は年間稼働率70%以上とし、通年で黒字化を目指します。
- 2023年8月より認知症デイサービスを開設し、新たなニーズに応えます。
- 店舗周りや試食などを通じて、お客様と直に接する機会を増やし、「恋する豚研究所」や「1K」のブランド価値を伝えていきます。
- 地域の人や企業と連携し、新たなイベントや商品開発を行います。

02

安全で働きやすい職場づくりを
推進します

- 誰に対しても笑顔で明るい挨拶を行います。
- 栽培工程の進捗管理や製造方法の見直しを行い、労働生産性を高めます。また、構造化できていない業務のマニュアル化を進めます。
- 日常の整理整頓や定期的な安全教育の実施により、労災ゼロを目指します。

03

職員ひとりひとりが自律して
行動できるようにします

- 「気づいたら発信」「迷ったら相談」を意識し、個人や部署で問題を抱え込まず、チームで解決できるようにします。
- 月1回の支援共有会議やリーダーミーティングでは、ひとりひとりが意見を活発に出し合い、議論の質を高めます。
- OFF-JTの内容を見直し、月2回、各5名以上が参加することで、講師と参加者がともに学ぶ機会を増やします。



01

職員ひとりひとりが持てる力を
発揮できる組織づくりを推進します

- 仕事の目的や魅力、やりがいなどが感じられるような機会の創出や職員に向けた情報発信を月1回行います。
- 日本語を母語としない職員の日本語能力をN2レベル以上に引き上げるため、在留資格を問わず全員に日本語教育プログラムを提供します。
- 人材確保を強化するため、2023年12月までに看護師や管理栄養士などの専門職向けの採用サイトの構築を行います。

02

持続可能な経営管理体制を
つくります

- 2024年度の事業継続計画策定の義務化に向け、2023年7月から検討委員会を設置し、年度内に完成させます。
- 2024年度の介護報酬改定に向け、法人内で勉強会を実施し、次年度の経営改善につなげます。
- 紙ベースの書類作成や事務手続きの時間を削減するため、2023年6月から勤怠申請の電子化、2023年10月からは入職書類の一部電子化を開始します。
- 算定できる加算や稼働率、コスト比率等をモニタリングし、各事業部へフィードバックすることで、継続的な経営の安定化を図ります。また、2024年3月末までにキャッシュポジションを3億円まで引き上げます。

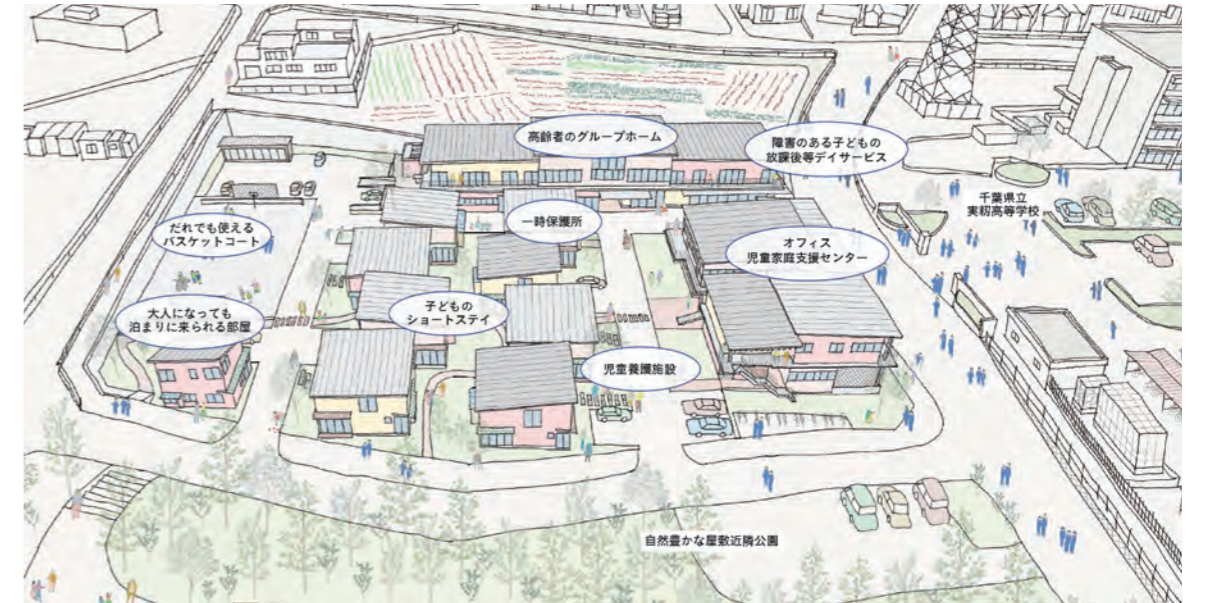
03

心理的安全性を高め、
業務改善が促進される
バックオフィス組織を目指します

- 利用者や職員の意向や考えだけでなく、具体的なニーズを考え、部署に囚われず、対応できる最善を目指します。
- 成果のあった取り組みについて、他拠点にも共有し、組織全体の向上につなげます。
- OFF-JTを2か月に1回実施し、コーポレート統括部内の情報共有や意見交換を促進します。



千葉県習志野市で複合的な福祉施設を開設するための準備をすすめます。2024年秋の事業開始を目指します。児童養護施設や一時保護所など子どもの施設のほか、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護などを併せて整備する新しいタイプの福祉拠点です。計画地は、「千葉県立実籾高校」や「屋敷近隣公園」が隣にあり、地域の人に身近な場所です。2023年10月から開設準備室に専従の職員を配置し、各所との連絡調整や採用活動など開設に向けた準備をすすめます。



整備する主な施設種別

- 実籾パークサイドハウス
 - ・児童養護施設 | 定員36人
 - ・一時保護所 | 定員6人
 - ・子どものショートステイ | 定員6人
- 実籾パークサイドテラス
 - ・認知症対応型共同生活介護 | 定員18人
 - ・看護小規模多機能型居宅介護

計画地

千葉県習志野市実籾本郷630番地ほか
千葉県立実籾高等学校 正門前
京成電鉄本線「実籾」駅から徒歩13分

スケジュール

2023年9月 着工
2024年夏 竣工
2024年秋 事業開始

2023年度予算（資金収支計算書）（自）2023年4月1日（至）2024年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | 予算額 |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 事業活動による収支 | 収入 | |
| | 介護保険事業収入 | 1,981,981,428 |
| | 就労支援事業収入 | 476,872,801 |
| | 障害福祉サービス等事業収入 | 185,031,443 |
| | 公益事業収入 | 43,428,204 |
| | 借入金利息補助金収入 | 66,365 |
| | 経常経費寄附金収入 | 2,380,000 |
| | 受取利息配当金収入 | 4,535 |
| | その他の収入 | 98,170,998 |
| | 事業活動収入計(1) | 2,787,935,774 |
| 支出 | | |
| 人件費支出 | 1,446,709,621 | |
| 事業費支出 | 320,545,618 | |
| 事務費支出 | 214,937,799 | |
| 就労支援事業支出 | 445,880,129 | |
| 支払利息支出 | 19,752,988 | |
| その他の支出 | 7,585,500 | |
| 事業活動支出計(2) | 2,455,411,655 | |
| 事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2) | 332,524,119 | |

| 勘定科目 | | 予算額 |
|---|-----------------|---------------|
| 施設整備等による収支 | 収入 | |
| | 設備資金借入金収入 | 1,321,000,000 |
| | 施設整備等収入計(4) | 1,321,000,000 |
| | 支出 | |
| | 設備資金借入金元金償還支出 | 177,798,000 |
| 固定資産取得支出 | 1,322,919,000 | |
| ファイナンス・リース債務の返済支出 | 7,121,665 | |
| 施設整備等支出計(5) | 1,507,838,665 | |
| 施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5) | ▲186,838,665 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | |
| | 長期貸付金回収収入 | 1,600,000 |
| | その他の活動収入計(7) | 1,600,000 |
| | 支出 | |
| | 長期運営資金借入金元金償還支出 | 46,338,000 |
| 長期貸付金支出 | 2,800,000 | |
| その他の活動による支出 | 12,100,000 | |
| その他の活動支出計(8) | 61,238,000 | |
| その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8) | ▲59,638,000 | |
| 予備費支出(10) | — | |
| 当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10) | 86,047,454 | |
| 前期末支払資金残高(12) | 494,894,887 | |
| 当期末支払資金残高(11) + (12) | 580,942,341 | |

ABOUT

福祉楽団について ABOUT FUKUSHI GAKUDAN

施設概要

FACILITY INFORMATION

杜の家くりもと



所在地：〒287-0102
千葉県香取市岩部869番60
TEL：0478-70-5665
FAX：0478-70-5666
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／認知症グループホーム／共生型デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／学習支援事業
開設日：2003年3月1日

杜の家やしお



所在地：〒340-0802
埼玉県八潮市鶴ヶ曾根567番1
TEL：048-999-7667
FAX：048-999-7668
実施事業：特別養護老人ホーム／ショートステイ／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／学習支援事業／だれでも食堂
開設日：2008年4月1日

杜の家なりた



所在地：〒286-0005
千葉県成田市下方686番1
TEL：0476-20-7575
FAX：0476-20-7878
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業
開設日：2016年6月1日

地域ケアよしかわ



所在地：〒342-0054
埼玉県吉川市吉川団地1街区7号棟107
TEL：048-984-2332
FAX：048-984-2333
実施事業：訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／みんなの食堂
開設日：2014年4月1日

地域ケアそうか



所在地：〒340-0015
埼玉県草加市高砂1-12-48
ドーム・ヨシタケ11C
TEL：048-954-4141
FAX：048-954-4040
実施事業：重層的支援体制整備事業における参加支援事業・地域づくり事業／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／みんなの食堂
開設日：2022年10月1日

香取CCC



所在地：〒287-0003
千葉県香取市佐原イ720番地6
パールコートD号室
TEL：0478-50-1919
FAX：0478-50-1414
実施事業：千葉県中核地域生活支援センター事業／千葉県生活困窮者自立相談支援事業／千葉県就労準備支援事業／千葉県家計改善支援事業／香取市生活困窮者等自立支援事業／学習支援事業
開設日：2017年4月1日

栗源協働支援センター



所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢2459番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援A型／相談支援／生活困窮者認定就労訓練
開設日：2012年9月1日

栗源第一薪炭供給所



所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢2452番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援B型／認知症デイサービス（2023年8月開設予定）
開設日：2018年3月1日

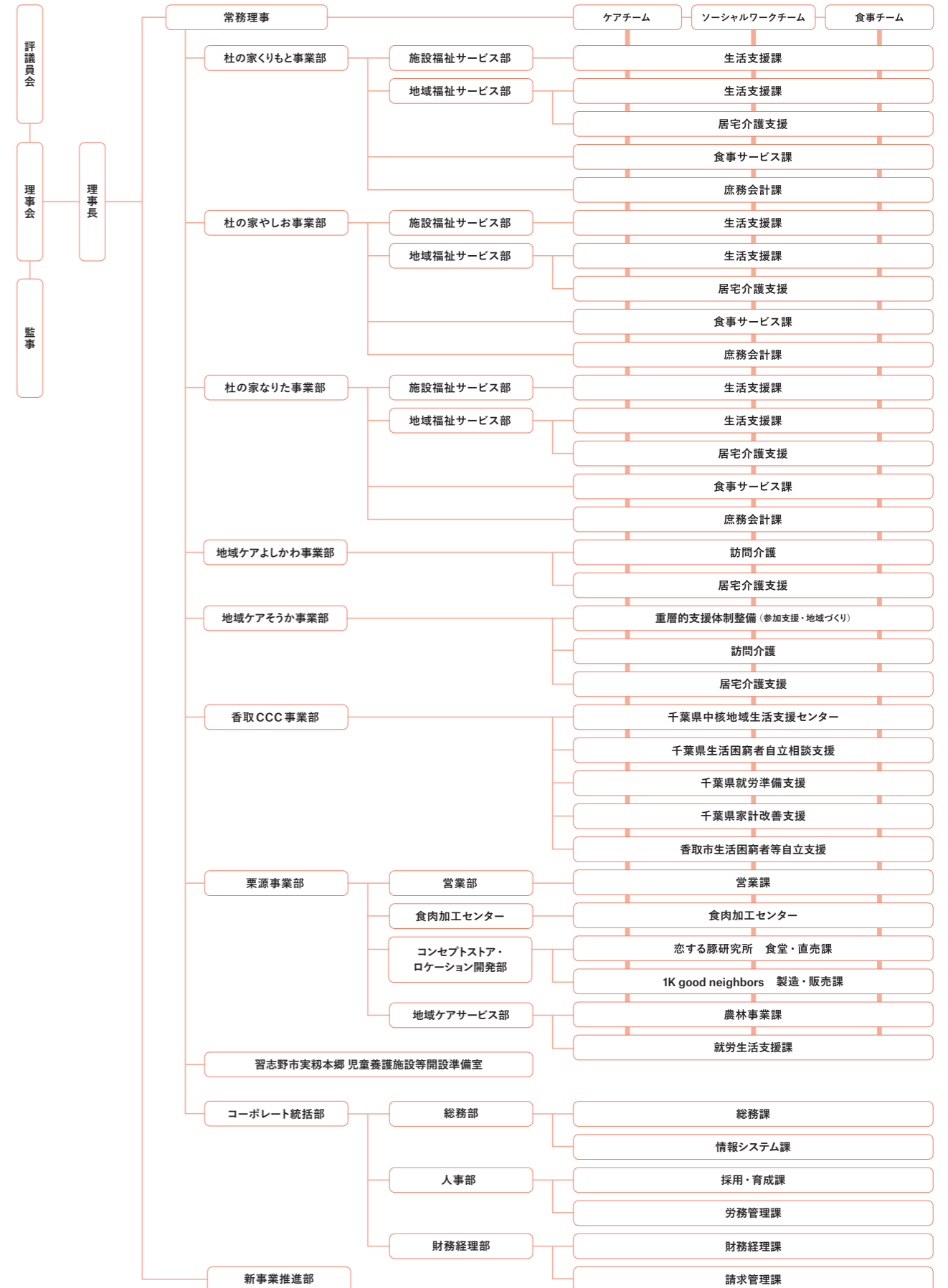
コーポレート統括部



所在地：〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
WBG マリアイースト12階
TEL：043-307-2828
FAX：043-307-4848

ORGANIZATION 組織図

2023年7月1日現在



HISTORY

沿革

2001.12

▶ 12月7日、「社会福祉法人豊和会」として設立（千葉県認可）。職員数34名。写真は「杜の家くりもと」の竣工式（2003年2月）で設計者を表彰する在田正則理事長と、在田恵美子施設長（いずれも当時）



2003.3

▶ 法人最初の施設「杜の家」（千葉県香取市）開設（現「杜の家くりもと」）。特別養護老人ホームの事業からスタート



2005.7

▶ 法人名称を「社会福祉法人福祉楽団」に変更

2008.4

▶ 「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設



▶ 法人最初の職員住宅「オーブンセサミ」（埼玉県八潮市）設置



2009.8

▶ お食事配達サービス「杜ごはん」（千葉県香取市）を開始。翌年4月、お出かけ支援サービス「杜バス」（千葉県香取市）を開始

2012.9

▶ 就労継続支援A型事業所「栗源協働支援センター」（千葉県香取市）開設。同月、建物内に「恋する豚研究所」のフラッグシップストア「食堂・お店」を出店



2012.10

▶ 法人最初の訪問介護ステーション「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設

2013.7

▶ 「杜の家やしお」で無料学習支援サービス提供開始

2014.4

▶ 「地域ケアよしかわ」（埼玉県吉川市）開設



2014.11

▶ 「地域ケアよしかわ」で「みんなの食堂」を開始

2015.11

▶ ケア記録ソフト「ケアコロボ」を全事業所で導入



2016.4

▶ 職員住宅「ピーカパー」（千葉県成田市）設置

2016.6

▶ 「杜の家なりた」（千葉県成田市）開設



2017.3

▶ 「社会福祉法人愛川舜寿会」「社会福祉法人ゆうゆう」と3社福アライアンスを締結

▶ 「ツルガンネ保育所」（埼玉県八潮市）を開設

2017.4

▶ 職員住宅「栗源ハウス」（千葉県香取市）設置

▶ 「香取CCC」（千葉県香取市）を開設



▶ 在田正則が理事長を退任し、飯田大輔が理事長に就任

2018.3

▶ 「栗源第一薪炭供給所」（千葉県香取市）開設



2018.4

▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内にスイーツポテト専門店「1K sweet potato」（現「1K good neighbors POTATO & CAFE」）を併設

2018.11

▶ 法人本部事務所を千葉県千葉市美浜区に移転



2019.9 - 10

▶ 台風15号、19号により各施設で被災（法人全体の施設・設備の被災総額1億1,614万円）。「杜の家くりもと」は地域の福祉避難所にもなった



2020.2

▶ 「イワベの保育所」（千葉県香取市）を開設。法人として3事業所目の保育所

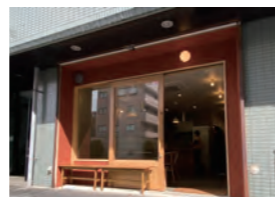


2020.4

▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内に「1K good neighbors JAM & PASTE」のジャム小屋を設置

2022.10

▶ 「地域ケアそうか」（埼玉県草加市）開設



CORPORATE INFORMATION

法人概要

| | | |
|------------|---|---|
| 法人名称 | 社会福祉法人 福祉楽団 （2001年12月7日登記） | |
| 法人番号 | 1040005013430 | |
| 主たる事務所 | 〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 電話：043-307-2828 ファクシミリ：043-307-4848 | |
| 理事長 | 飯田 大輔 | |
| 理事 | 安部 明子（東京都足立区） 杜の家なりた事業部長 飯田 大輔（千葉県千葉市） 理事長 石間 太朗（東京都墨田区） 杜の家やしお事業部長 岩田 直樹（千葉県船橋市） 常務理事（コーポレート統括部長） | 大枝 真弓（千葉県千葉市） 常務理事 大原 裕介（北海道当別町）（福）ゆうゆう 理事長 馬場 拓也（神奈川県愛川町）（福）愛川舜寿会 理事長 |
| 監事 | 楠田 啓（京都府京丹後市）（福）みねやま福祉会 理事 | 星川 望（東京都練馬区） 税理士 |
| 評議員 | 在田 健一（千葉県旭市）（有）アタホックサイエンス 代表取締役 伊藤 佳世子（千葉県千葉市）（福）りべるたす 理事長 井上 徹（千葉県香取市） 香取市議会議員 白田 有香里（千葉県千葉市）（一社）COCO PORTA 代表理事 こまちだ たまお（千葉県長生郡） 芸術家 篠塚 佳典（千葉県香取市）（株）芝山農園 代表取締役 | 竹嶋 信洋（千葉県千葉市）（株）ベストサポート 代表取締役 竹蓋 伸六（千葉県香取市）（福）香取市社会福祉協議会 会長 筒井 啓介（千葉県木更津市）（NPO）コミュニティワークス 理事長 平野 昇（千葉県旭市） 平野自動車 代表 妻鹿 ふみ子（東京都世田谷区） 東海大学 教授 |
| 評議員選任・解任委員 | 伊藤 新一郎（北海道札幌市） 北星学園大学 教授 鶴 領太郎（静岡県藤枝市） 静岡福祉大学 助教 | 林 健太郎（東京都福城市） 慶應義塾大学 専任講師 |
| 法律顧問 | 大槻 厚志（千葉県弁護士会・県民合同法律会計事務所） | |
| 事業の種類 | 1. 第一種社会福祉事業 (1) 特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 (1) 老人デイサービス事業の経営 (2) 老人短期入所事業の経営 (3) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 (4) 老人居宅介護等事業の経営 (5) 障害福祉サービス事業の経営 (6) 一般相談支援事業の経営 (7) 特定相談支援事業の経営 (8) 障害児通所支援事業の経営 (9) 障害児相談支援事業の経営 (10) 社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営 | 3. 公益を目的とする事業 (1) 居宅介護支援事業 (2) 配食サービス事業 (3) 自家用車有償旅客運送事業 (4) 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言を行う事業 (5) 無料又は低額な料金で子どもの学習を支援する事業 (6) 企業主導型保育事業 (7) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業 4. 収益事業 (1) 不動産賃貸業 |
| 所轄庁 | 千葉県 | |

メディア掲載（主なもの）

テレビ

- TBS / 2022年5月14日「王様のブランチ」
> ニッチェのニッチな日帰り旅 in 千葉
- NHKワールド / 2022年6月9日「DESIGN TALKS plus」
> ローカルリソースへのアクセシビリティの向上
- フジテレビ / 2023年1月28日「いただきハイジャンプ」
> 千葉県香取市 少数決ツアー

新聞

- 日本経済新聞 / 2022年4月13日
> 感染時の在宅介護 困難に 事業者、休業リスク回避
- 日本経済新聞 / 2022年6月22日
> 東京芸術大学 DOOR 福祉分野にアート生かす

雑誌・広報誌

- 日経BP / 2022年6月10日「日経ヘルスケア」2022年6月号
> 他法人のリーダーと交流して成長を目指す
- NPO法人自伐型林業推進協会 / 2022年7月31日「自伐協会報誌」第3号
> 荒い山でも未来は拓ける 森を活かした社会福祉法人の挑戦
- 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS / 2022年11月4日「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER 12」
> 「ああ、おいしい」を生み出しながら、働く人、食べる人、地域や環境もケアしていく。
- 千葉大学 / 2023年1月13日「ちばだいプレス」Vol.61
> 千葉大学OBOGインタビュー

ラジオ

- bayfm78 / 2022年10月26日「CHIBA PREFECTURE UPDATES」
> 1K good neighbors スイートポテトともラテの紹介

福祉楽団 スキマ基金

1口
年 **3千円**
ご寄附

制度の「スキマ」をフォローする福祉実践を育てる基金です。ご支援をよろしくお願いいたします。

2021年5月より
税額控除対象法人 となりました。
当法人への寄附については、税額控除を受けることができます。

福祉楽団サポーターズになる

福祉楽団の“現場”を支えるさまざまなプログラムに活用させていただきます。福祉実践を育てていくメンバーシップ制度です。サポーターの方には、年4回発行の広報誌『GAKUNAVI』や、年1回発行の統合報告書をお届けします。

これまで
16,364,365円を
活用させていただきました

インフルエンザの検査キットを調達

新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されているインフルエンザの検査を介護職員が迅速に受けられるように検査キットを調達しました。法人全体で1,000キットを配備し、風邪症状のある介護職員が無料で検査できる体制をつくりました。



水害時の垂直避難に使用する階段昇降機を整備

水害時に垂直避難をするときに車いすのまま階段を昇ることができる「リフトアップ式階段昇降機」を整備しました。水害や停電でエレベーターが使えない場合でも安全に上階に避難することができます。



介護負担を軽減する特殊な車いすを購入

真横への移動やその場での旋回ができる「ティルト&リクライニング車いす」を整備しました。高機能で、介護職員が使いやすいだけでなく、身長が高い利用者さんもゆったり座ることができる車いすです。



2022年度「スキマ基金」にご支援ありがとうございました

よしかわ地域食堂ネットワーク／株式会社千葉銀行／株式会社テクノプランニング／有限会社西商店／山口農場／香取市立わらびが丘小学校／民泊幸せの黄色いハンカチ／NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ／伊藤博和／宇井正一／岩澤由美子／見澤雅道／向後仁志／清宮きい子／西本知也／石井秀則／田中耕太／内山雅之／濱名英倫／横山和子／三輪恵司／長谷川隆／青木正勝／大杉斎／高木玲子／加瀬勉／吉田響／飯島優／阿野田久太郎／井田武宣／奥田テイ子／岡村ちよ子／会田幸子／岩田拓也／岩野道生／貴田美津子／久吉賢一／久吉浩孝／橋本美知子／金井一薫／原元利成／綱島ひろみ／高橋マナミ／今井靖子／佐藤義勝／妻鹿ふみ子／茂田健一／山本六子／秋本可愛／小川恭秀／小川美香／森永康義／星野真吾／西川雅浩／石井茂美／石間恵美／石間孝／川崎ひろ子／川上嘉明／相良文雄／大枝安泰／池田房子／仲盛香織／塚田慶博／田村真紀子／渡部和子／渡邊圭子／堂本暁子／馬上文司／馬場拓也／妻屋高広／畔森真知子／服部和野／平磯詩恵／望月靖子／本宮勝久／木内雅枝／林賢一／細田建史／高橋清香／曾田進／森野治男／その他お名前非公表48名 ※順不同・敬称略



かない ひとえ
金井 一薫さま ナイテングール
看護研究所 所長

福祉楽団の皆さまとは、開設当時からのお付き合いです。福祉という固定化された理念に縛られず、自由な発想で、支援を必要とされる方々に、本当に必要な支援の形を追い求め、それを実現していくという姿を拝見してきました。日本の福祉の形としては稀有な試みでしょう。福祉楽団の事業の先に、日本人の魂と希望が見えるような気がします。これからもずっと応援していきますよ。

プロジェクトをサポートする

1 ごはんプロジェクト



例
5千円
ご寄附

みんなの食堂で
30人分のごはんを
用意することができます

ひとりでご飯を食べている子どもや、お年寄り、引きこもりがちな若者などと、みんなでご飯をたべる活動を行っています。また、生活困窮家庭などに食料品を届ける活動も行っています。

これまで **2,620,725円**を
活用させていただきました

2 森ではたらくプロジェクト



例
1万円
ご寄附

障害のある人が使う
安全防護具を3人分
用意することができます

障害のある人や、さまざまな理由で働きづらさを抱えた人と一緒に森林の保全活動を行っています。地域の風景を整え、森林で汗をかいて働くことで心身の健康も整います。

これまで **96,500円**を
活用させていただきました

3 少年院から地域にかえるプロジェクト



例
1万円
ご寄附

出院してすぐに必要な
下着や着替えなどを1人分
用意することができます

少年院を出たあとに親元などの帰る場所のない子どもが多くいます。立ち直りを支援し、再犯しないようにしていくためには、住まいと仕事の支援が欠かせません。

これまで **667,083円**を
活用させていただきました

OUR KIDS 基金

2024年新設 児童養護施設の創設と子どもの生活をサポートする

寄附金
積立額 **1,161,337円**

福祉楽団では、千葉県習志野市に「児童養護施設」や子どもの「一時保護所」など、子どもを包括的に支援する拠点「実習パークサイドハウス」を整備します。私たちが取り組む子どもへの支援は、現行の社会保障制度や子ども福祉制度では実現不可能です。子どもの当たり前の権利や生活を守るために、社会のより良い未来のために、「OUR KIDS 基金」を創設しました。皆様からのご寄附をお願いいたします。

全額損金算入が可能な寄附制度があります！

法人で、児童養護施設の創設のために100万円以上の寄附をご検討の場合は、**全額損金算入**が可能な「受配者指定寄附金制度」がご利用いただけます。共同募金会での手続きと審査が必要になりますので、福祉楽団の担当者までご相談ください。



わたなべ かずこ
渡部 和子さま 「杜の家なりた」利用者ご家族

夫婦2人暮らしで、夫の介護に限界を感じて途方に暮れる時期がありました。地域包括支援センターに相談したところ、「杜の家なりた」のケアマネさんを紹介してもらい、いまは夫が「杜の家なりた」のデイサービスなどを利用しています。気乗りせずに行きたくない日も、杜の家の皆さんが夕方様子を見に来てくれたり、親身になってくれることが嬉しいです。いまでは「杜の家なりた」とのつながりが、心の拠り所になっています。体が動くうちはボランティアもさせてもらいたいの、声をかけてください。



やまぐち きよし
山口 清さま 山口農場

山口農場は「森ではたらくプロジェクト」に協力しました。障害者雇用を大切に、みんなが明るく働いている様子は、心打たれ、感動しました。自然豊かな「恋する豚研究所」で働くことは心身の健康を保ち、とても有意義です。これからも、さまざまなプロジェクトに協力し、周りの人たちに広めていきたいと思っています。

▶ スキマ基金 | ご寄附の方法

全額損金算入を
ご希望の法人のみなさま

法人で100万円以上の寄附をご検討の場合は、全額損金算入ができる寄附制度があります。共同募金会の「受配者指定寄附金制度」(*)をご利用いただくことで、全額損金算入が可能になります。

「スキマ基金 | 寄附申込書」を
お送りください

ご利用には事前の審査があります。寄附申込書にご記入のうえ、福祉楽団コーポレート統括部へメールか郵便でお送りください。



スキマ基金 | 寄附申込書
ダウンロードはこちら

<https://www.gakudan.org/sukima/>

全額損金参加可能な寄附の流れ



受配者指定寄附金制度 | <https://akaihane-chiba.jp/smarts/index/39/>

寄附金控除・税額控除を
ご希望のみなさま

所得税の寄附金控除または税額控除が受けられます。税額控除を選択される場合は、当法人からの寄附金の領収証と『税額控除に係る証明書』が確定申告の際に必要となります。



クレジットカードで

「スキマ基金」専用のWebサイトから、クレジットカードですぐに手続きできます。



<https://bit.ly/3WZthNf>



銀行で

下記の口座でお受けしています。領収書をご希望される場合は、福祉楽団コーポレート統括部までメールでご連絡ください。

佐原信用金庫 本店
普通 0589540
社会福祉法人福祉楽団
フク) フクシガクダン



郵便局で

この冊子に同封の払込取扱票をお使いください。下記の口座でもお受けしています。

郵便振替
口座番号 00180-8-762018
加入者名 社会福祉法人
福祉楽団



遺産・不動産

土地や物品によるご支援をいただける場合は、福祉楽団コーポレート統括部までお気軽にご相談ください。

▶ ご寄附いただいた方へ

- 恋する豚研究所のハムとベーコンとソーセージのセットを贈ります

10,000円以上ご寄附いただいた方に、返礼品として、恋する豚研究所の美味しいハムとベーコンとソーセージのセットを進呈します。



お問い合わせ

担当 福祉楽団 コーポレート統括部



向後 (こうご)



篠塚 (しのつか)

電話 043-307-2828

メール sukima@gakudan.org

郵便 〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
WBG マリブイースト12階